

地租法中改正法律案特別委員會議事速記録第五號

付託議案(追加)
所得稅法中改正法律案
昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル
爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年三月二十四日(土曜日)午後一時
四十九分開會

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 是ヨリ開會イタシマス、地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案、之ヲ議題ニ供シマス、之ニ付テ御質問ハゴザイマセヌカ

○金子元三郎君 之ニ付テ一應御尋シテ見タイト思ヒマスノハ今度秋田鐵道外……等ノ買收法案ガ出テ居ルノデ、サウ云フ買收ノ場合ニ總テ此交付スル公債ハ五分利以下ノモノヲ交付スルト云フ趣旨ノ下ニ此法案ガ生レタコトト思フ、是ハ明カナコトデアリマス、併シ公債ヲ受クル會社ニ於テ四分利ヲ受クルヨリハ五分利ヲ受ケタ方ガ便宜デアアル、ソレハドウカト申シマス、地方ナドデハ四分利ノ公債ヲ受ケテモ餘リ利率ノ安イ公債デアルト云フト、手許ニ殘サズニ直チニ金ニ換ヘテシマフト云フヤウナ模様

第四部第一四類 地租法中改正法律案特別委員會議事速記録第五號 昭和九年三月二十四日

ガアルラシイノデ、又五分利デアレバソレヲ保存シテ手許ニ置クト云フ狀況モアルヤウデアリマスガ、併ナガラ私ノ御尋スルノハ其五分利ト四分利ト同ジ額面ニ於テ交付スルト云フコトデナシニ、時價ニ換算スルコトデアリマスカラ、政府ノ手許ニ於テハ何等損得ノナイコトデアリマス、併シ政府ノ方カラ斯ウ云フ法案デ定マリマスレバ假令時價デ換算ラシテモ五分利ノ公債ヲ交付スルト云フコトハ出來ヌコトダラウト思ヒマスルガ、併シソレハ形式ニ於テ四分利ナラ

四分利ヲ交付スルケレドモ、實際ニ於テハ日本銀行ニ於テ取扱フ何トカト云フヤウナ場合ニ、日本銀行デ手持ナリ、何ナリノ五分利ノ公債ヲ渡シテヤルト云フ便宜ナ方法ヲ當局ノ方デ御心配願ハレヌモノデアリマヤウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 皆サンニ申上ゲマスガ、政府委員ガ居ラレナイノデ、國債課長ガ説明サレルト云フコトデゴザイマスガ、ソレデ御差支ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御差支ナイト認メマス

○説明員(西村淳一郎君) 只今ノ御質問ニ對シテ御答イタシマス、此法律案ハ近來低金利ノ趨勢ガ顯著デアリマスル爲ニ、國債ノ新規發行ノ分ニ付キマシテモ、五分利ガ四分利ニ改正セラレル、ソレニ伴ヒマシテ交付公債ノ方モ同ジヤウナ比率ニ引下ゲタイ、差當リ四分利公債ヲ交付シタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、唯併シ鐵道買收或ハ補償等ノ場合ニ於キマシテ、買收又ハ補償ヲ受ケル側ノ方ニ損失ヲ及ボスト云フコトハ適當デナイト思ハレマスノデ、五分利公債ノ代リニ四分利公債ヲ渡シマスケレドモ其手取金ハ同一ニ致シマス、サウ云フ趣旨デ時價ヲ斟酌シテ五分利ヲ渡ス場合ト四分利ヲ渡ス場合ト、之ヲ賣却シマス場合ト其價格ハ同ジニシテ渡スコトニナッテ居リマス、併ナガラ今御尋ノアリマシタ通り或ハ價格ハ同ジデモ四分利ヨリ五分利ヲ以テ行キタイト云フ御希望ノ向キモアルカト思ヒマス、其場合ニ何カ御便宜ガ圖ラレナイモノデアラウカト云フ御趣旨ト承リマシタノデアリマスガ、是ハ御尤ナコトデアリマシテ、當局ノ方デモ色々其點ニ付テ何カ便宜ノ方法ハナイカト實ハ考究シテ居ル譯デアリマス、理窟カラ申シマスレバ同ジ時價ノモノデアリマスカラ、其交付ヲ受ケマシタ四分利公債ヲ直チニ市場デ賣却イタシマスレバ、而シテ其賣却シテ得タ金ヲ以テ五分利公債ヲ買ヒマスレバ、從來五分利公債ヲ受ケタト同ジ五分利ノ公債ヲ取得シ得ル譯デアリマシテ、成ルベクナラバソレヲ希望スル譯デアリマス、尤モ之ニハ多少賣買ノ手數料ト云フモノガ要ルカモ知レマセヌ、併シ是ハ極ク金額トシテハ僅カナモノデアリマシテ、單ニ額面百圓ニ付キマシテハ先ヅ五、六錢ト云フ風ナ割合少額ナモノデアリマス、併シ多少手數料モ要リマスシ、不便ナ點ガアルトモ思ハレルノデアリマス、ソレハ或ハ之ヲ日本銀行デ交換イタシマストカ、或ハ預金部運用公債ト交換イタシマスト云フコトニ付テノ御尋モアリマスノデアリマスガ、預金部デ之ヲ交換イタシマスト云フコトモ、一々委員會ニ掛ケナケレバナラヌト云フ不便モアリマス、日本銀行トシテモ少額ナモノヲ一々換ヘルト云フコトニ付テモ、色々多少困難ナ點モアルヤウデゴザイマスガ、何カ其他ノ方法ニ依リマシテデモ、此交換ノ希望或ハ賣買ノ御希望ニ

○說明員(西村淳一郎君) 只今ノ御質問ニ對シテ御答イタシマス、此法律案ハ近來低金利ノ趨勢ガ顯著デアリマスル爲ニ、國債ノ新規發行ノ分ニ付キマシテモ、五分利ガ四分利ニ改正セラレル、ソレニ伴ヒマシテ交付公債ノ方モ同ジヤウナ比率ニ引下ゲタイ、差當リ四分利公債ヲ交付シタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、唯併シ鐵道買收或ハ補償等ノ場合ニ於キマシテ、買收又ハ補償ヲ受ケル側ノ方ニ損失ヲ及ボスト云フコトハ適當デナイト思ハレマスノデ、五分利公債ノ代リニ四分利公債ヲ渡シマスケレドモ其手取金ハ同一ニ致シマス、サウ云フ趣旨デ時價ヲ斟酌シテ五分利ヲ渡ス場合ト四分利ヲ渡ス場合ト、之ヲ賣却シマス場合ト其價格ハ同ジニシテ渡スコトニナッテ居リマス、併ナガラ今御尋ノアリマシタ通り或ハ價格ハ同ジデモ四分利ヨリ五分利ヲ以テ行キタイト云フ御希望ノ向キモアルカト思ヒマス、其場合ニ何カ御便宜ガ圖ラレナイモノデアラウカト云フ御趣旨ト承リマシタノデアリマスガ、是ハ御尤ナコトデアリマシテ、當局ノ方デモ色々其點ニ付テ何カ便宜ノ方法ハナイカト實ハ考究シテ居ル譯デアリマス、理窟カラ申シマスレバ同ジ時價ノモノデアリマスカラ、其交付ヲ受ケマシタ四分利公債ヲ直チニ市場デ賣却イタシマスレバ、而シテ其賣却シテ得タ金ヲ以テ五分利公債ヲ買ヒマスレバ、從來五分利公債ヲ受ケタト同ジ五分利ノ公債ヲ取得シ得ル譯デアリマシテ、成ルベクナラバソレヲ希望スル譯デアリマス、尤モ之ニハ多少賣買ノ手數料ト云フモノガ要ルカモ知レマセヌ、併シ是ハ極ク金額トシテハ僅カナモノデアリマシテ、單ニ額面百圓ニ付キマシテハ先ヅ五、六錢ト云フ風ナ割合少額ナモノデアリマス、併シ多少手數料モ要リマスシ、不便ナ點ガアルトモ思ハレルノデアリマス、ソレハ或ハ之ヲ日本銀行デ交換イタシマストカ、或ハ預金部運用公債ト交換イタシマスト云フコトニ付テノ御尋モアリマスノデアリマスガ、預金部デ之ヲ交換イタシマスト云フコトモ、一々委員會ニ掛ケナケレバナラヌト云フ不便モアリマス、日本銀行トシテモ少額ナモノヲ一々換ヘルト云フコトニ付テモ、色々多少困難ナ點モアルヤウデゴザイマスガ、何カ其他ノ方法ニ依リマシテデモ、此交換ノ希望或ハ賣買ノ御希望ニ

宜ノ方法ハナイカト實ハ考究シテ居ル譯デアリマス、理窟カラ申シマスレバ同ジ時價ノモノデアリマスカラ、其交付ヲ受ケマシタ四分利公債ヲ直チニ市場デ賣却イタシマスレバ、而シテ其賣却シテ得タ金ヲ以テ五分利公債ヲ買ヒマスレバ、從來五分利公債ヲ受ケタト同ジ五分利ノ公債ヲ取得シ得ル譯デアリマシテ、成ルベクナラバソレヲ希望スル譯デアリマス、尤モ之ニハ多少賣買ノ手數料ト云フモノガ要ルカモ知レマセヌ、併シ是ハ極ク金額トシテハ僅カナモノデアリマシテ、單ニ額面百圓ニ付キマシテハ先ヅ五、六錢ト云フ風ナ割合少額ナモノデアリマス、併シ多少手數料モ要リマスシ、不便ナ點ガアルトモ思ハレルノデアリマス、ソレハ或ハ之ヲ日本銀行デ交換イタシマストカ、或ハ預金部運用公債ト交換イタシマスト云フコトニ付テノ御尋モアリマスノデアリマスガ、預金部デ之ヲ交換イタシマスト云フコトモ、一々委員會ニ掛ケナケレバナラヌト云フ不便モアリマス、日本銀行トシテモ少額ナモノヲ一々換ヘルト云フコトニ付テモ、色々多少困難ナ點モアルヤウデゴザイマスガ、何カ其他ノ方法ニ依リマシテデモ、此交換ノ希望或ハ賣買ノ御希望ニ

付テ御便宜ヲ圖ルヤウナコトヲ考ヘタイト
思ヒテ色々研究ハシテ居リマス次第デゴザ
イマスカラ、左様御承知願ヒタイト思ヒマ
ス

○金子元三郎君

今ノ御答ハ御尤ナヤウニ
アリマスケレドモ、一度交付ヲ受ケマシタ
四分利公債ガ若シ地方マデモ歸ツテシマヒ
マスト、更ニソレヲ五分ニ換ヘルト云フコ
トガナカク手數ナコトデ、其手數ノ費用
トシテ手數料ト云フヤウナモノハ、今御話
ノヤウナ極ク些細ナ金額デアリマスケレド
モ、地方デハ之ヲ買換スルト云フ便宜ガ乏
シイ、何レ中央ニ之ヲ持出サナケレバナラ
ナイ、中央ニ持出スノニハ、其間ソレノ
ノ商賣人ニ依頼スルトカ何トカト云フヤウ
ナコトテナイト參リマセヌシ、サウ云フ場
合ニ於テ思ハヌ差額ガ又出來テ來ナイトモ
限ラナイ、出來ルナラバ此中央デ交付サレ
ル場合ニ直チニ五分利ニ換算ラシタモノヲ
御渡シテ願ヘレバ一般交付者モ大變喜ブコ
トデアラウト思フノデアリマス、成ル程預
金部ノ手持公債ヲ換ヘルト云フコトハ、是
ハ役所トシテ手續ガ面倒デアリマセウケレ
ドモ、日本銀行ガ若シヤツテ呉レルト云フ
コトデアリマスナラバ、受クル箇々ノモノ、
デナシニ、一ツノ鐵道會社ト云フヤウナモ

ノガ纏メテ受ケルノデアリマスカラ、其纏
メテ受ケタモノヲ纏メテ貰フト云フコトニ
付テハ、餘リ日本銀行ニシテモ大ナル手數
デモナカラウ、又帳簿ノ記載ナドニ於テモ
甚シイ面倒ナコトハナク思フノデアリマス、
ソコデドウシテ斯ウ云フコトヲ私ガ申スカ
ト云フト、先程モ申シマス通りニ、地方ノ
人達ニ此四分利デ渡シテヤリマスト直チニ
金ニ換ヘル、金ニ換ヘレバ金ニ換ヘルト云
フコトニ付テハ色々「ブローカー」ヤ何カノ
手ヲ經ル、ソコニ思ハヌ失費モ出タリ、自然
長ク手許ニ公債ヲ貯ヘテ置クト云フヤウナ
コトガナクナツテ、外ノ何カノモノニ換ヘテ
シマフ、斯ウ云フコトニナルデアラウト思
ヒマス、五分利デ渡セバ五分利ハ保存シテ
手許ハ長ク持ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ状態
ニナラウカト思フノデ、一般地方民ノコト
ヲ思ヒマスレバサウ云フ風ナ取扱ガ出來マ
スト洵ニ便利ダト思ヒマス、併シ是ハ政府
トシテ當然ノ取扱デハナイノデアリマスカ
ラ、強ヒテ今斯ク斯クノ方法デ必ズサウシテ
ヤルト云フ御答ハ出來得ナイコトハ存ジマ
スルケレドモ、先ヅ希望アルナラバ殆ド左
様ナコトガ出來得ルモノデアルカノ如ク御
心配ヲ願ツテ、其望ヲ叶ヘテヤラウト云フヤ
ウナコトノ御運ビヲ願ヘレバ大變結構ダト

思フノデアリマス、幾ラ御尋シテモ前刻ノ
御答ヨリ外ニ御答ガ出來ニクイカトモ思ヒ
マスルケレドモ、尙ホ一應特ニサウ云フコ
トノ希望ヲ申述ベテ置キマスルカラ、其私
ノ希望ニ對シテ特ニ政府ガ左様ニ考慮シテ
ヤルト云フヤウナコトノ御言葉ヲ承ツテ置
クト大變満足スル譯デアリマス

○説明員(西村淳一)君

金子サンノ御尋
ニ御答イタシマス、誠ニ御尤ナ御質疑デゴ
ザイマシテ、當局ト致シマシテモ何等カ便
利ナ方法ガ發見出來マスレバ出來得ル限り
御趣旨ニ副フヤウナ處置ヲ執リタイト斯ウ
思ツテハ居リマスノデゴザイマス、唯茲ニ多
少御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマスルノハ、交
付公債ヲ從來五分利デ渡シテ居リマシタモ
ノヲ今度四分利ニスルト云フコトハ、唯此
地方鐵道買收關係ダケデゴザイマセヌノ
デ、例ヘバ此滿洲事件ノ行賞ト云フ風ナモ
ノニ致シマシテモ四分利ノ公債ヲ渡ス、其
他交付公債ハ原則トシテ全部四分利ニシタ
イト云フ譯デゴザイマス、ソレデ此鐵道ノ
關係ノ分デ四分利デ渡シタモノヲ五分利ニ
交換スルト云フコトヲ致シマシタ場合ニ、
其他ノ四分利公債ノ交付ヲ受ケマシタ者、
例ヘバ滿洲事件ノ行賞ニ付テ四分利公債ヲ
受ケマシタ者、サウ云フ方々カラ自分ノ方

モ矢張五分利ニ換ヘテ欲シイト云フ風ニ全
般的ノ要求ガ起リマシタ場合ニハ、假ニ日
本銀行デ交換イタスト致シマシテモ、日本
銀行ノ五分利公債ノ手持ハソレ程澤山アル
譯デモアリマセヌシ、又日本銀行トシテハ
各種ノ公債ヲ手持スルコトハ豫備上ニモ必
要ノコトニ承知イタシテ居リマスノデ、此
際ハッキリ斯ウ云フ風ナ處置デ以テ御便宜
ヲ圖ルルト云フコトヲ申上ゲル確信ヲ實ハ
持ツテ居リマセヌノデゴザイマス、唯方法ト
シテ考ヘラレマスルノハ、之ヲ市場デ賣買
サレルト云フ風ナ場合ニ、日本銀行ナリ政
府デ以テ口添ヲ致シマシテ、成ルベク御便
宜ニ、其負擔ヲ増スト云フ風ナコトノナイ
ヤウニト云フコトヲ盡力スルト云フコトナ
ドハドウデアラウカト云フ風ナ考ヲ實ハ一
應ハ持ツテ居リマスガ、尙ホ十分研究シテ見マ
セヌト、ドウ云フ方法ヲ執ッタ宜シイト云
フコトハ此際實ハハッキリ申上ゲ兼ネル次
第デアリマス、惡シカラズ御諒承ヲ願ヒマ
ス

○伯爵兒玉秀雄君

チヨット私今ノニ聯關
シテ、御説明ニ對シテ疑ヲ持ツタノデスガ、
今度滿洲事件ニ對スル行賞ノ公債ガ四分利
デアルカラ、ダカラシテ之ヲ五分利ニ換ヘ
テヤルト云フ場合ガ生ズルト仰シヤイマシ

チヨット私今ノニ聯關
シテ、御説明ニ對シテ疑ヲ持ツタノデスガ、
今度滿洲事件ニ對スル行賞ノ公債ガ四分利
デアルカラ、ダカラシテ之ヲ五分利ニ換ヘ
テヤルト云フ場合ガ生ズルト仰シヤイマシ

タケレドモ、併シ此鐵道ノ補償ハ五分利公債ヲ渡スト法律ヲ明記シテアルモノヲ、政府方此際無理ニ四分ニ値下ニナリ、其値下ニナル方法トシテ時價デ五分利公債ヲ貰フタト同ジヤウナ條件デ四分利公債ヲ渡シテヤラウト斯ウ云フノデアリマスカラ、今ノ滿洲ノ行賞トハ全ク違フ、鐵道會社ガ買收サレル場合ハ五分利公債ヲ貰フモノト考ヘテ居ツタノデアアル、斯ウ云フ事ハ他ニサウ云フ例ハ私ハ無イモノト思ヒマス、サウスレバ政府ノ方デハ親切ニ之ヲ御考ニナリマシテ、其希望ニ應ズルヤウナ風ニ御取計ニナルノガ、是ガ所謂仁政ダラウト私ハ思ヒマスノデ、此點ヲ一言申上ゲテ置キマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 此鐵道公債法ニ付キマシテ御質問ハゴザイマセヌデスカ、御質問ガゴザイマセヌケレバ採決ニ移リタイト存ジマスルガ、御意見ノ御アリノ御方ハ此際申述ベラ願ヒマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 是ハ左様イタシマスト此法案通り、地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案、此法律案通り可決セラレタモノト認メマシテ差支アリマセヌカ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 是ニテ此案ハ確定イタシマシタ

次ハ絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案、之ヲ議題ニ供シマス、御質問ノ御有リニナリマスカラ、御願イタシマス

○藤原銀次郎君 農林省ノ御方ハ御出デニナツテ居リマスカ……此處ニ一昨日ノ要求ニ應ジテ材料ヲ頂戴イタシマシテ、今此處デ拜見イタシマシタ所ガ、私共之ヲ見テチヨット分リ悪クテ困ツテ居ル問題ハ、第一此賣却數量トシテ三百八十三俵ダケ賣却セラレマシテ、其實却ニ付テハ詳細ナル内譯明細ガアリマスカラ、此三百八十三俵ニ對シテハ詳細ニ分リマシタケレドモ、今度ハ其反對ニ、試験研究用及博覽會出品用トシテ無償讓渡シタモノガ千三百七俵アル、此千三百七俵ニ對シテハ明細ガ何モ書イテナイ、サウスルト云フト三百八十三俵ニ對シテハ斯ウ云フ詳細ノ明細ガアツテ、千三百七俵ト云フ大キナ數量ニ對シテハ何等ノ明細ガナイト云フコトハドウ云フ譯デアリマセウカ、若シソコニ材料ヲ御持チデゴザイマシタラバ此千三百七俵ノ内譯明細ヲ承ハリタイ、斯ウ云フコトヲ承リタイ爲ニ材料ヲ要求シタノデアリマス

○政府委員(井野碩哉君) 一昨日藤原サン

ノ御要求ハ、私直接伺ツテ居リマセヌモノデスガ、大體買ヒマシタ時ト、賣リマシタ時ノ價格ヲ主トシテノ材料ヲ御要求ト思ヒマシタカラ、賣却數量ダケヲ詳シク差上ゲタノデアリマスカ、無償讓與イタシマシタ内譯ノ詳細ナモノハ此處ニ持ツテ居リマス、若モナンデアリマシタラ御説明申上ゲタイト思ヒマス

○藤原銀次郎君 ソレヲ御差支ナケレバ頂戴シタイト思ヒマス、ソレカラ其次ニソレヲ此處デ唯拜見シタダケデモ宜シウゴザイマス、若シ御寫シガナケレバ……

○政府委員(井野碩哉君) 申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

○藤原銀次郎君 ソレデモ結構デアリマス、チヨット御待チ下サイ、書留メマスカラ……

○政府委員(井野碩哉君) 御手許ニ配付シテ置キマシタ政府買入生絲現在高調、ソレニハ其日々々々ニ無償讓與イタシマシタ數量ガ出テ居リマス、唯内容ガドウ云フモノヲ出シタカト云フコトハ分リマセヌ、此點ヲ申上ゲテ見ヤウト思ヒマス、細カイノハ一月十日迄ノ間及其後ノモノ之ニ追加シテ申上ゲルノデアリマス、又一月十日迄ノ分ヲ申上ゲマスト、軍用被服地ヲ六百六十五箱ソレカラ絹洋服地ハ十六箱、漁獵用網三

十八箱、室内裝飾用織物十九箱、二重紋天鷲絨六箱、其ノ他一俵、二俵ノ細イモノガゴザイマスカ、品目ダケヲ申上ゲテ置キマス、内地向織物ノ輸出轉化品、紋「ゴーズ」、絹天幕地、絹絨氈、絹毛布、絹「ロープ」、絹蚊帳、麻混紡線、印度向絹「ロンギー」南洋向絹「サロン」、落下傘用絹地、工業用絹等デゴザイマス、ソレニ全體ヲ合セマシテ八百五十四箱、其ノ外ニ市俄古萬國博覽會出品用ト致シマシテ九十五箱、合セマシテ九百四十九箱ト云フモノガ一月十日迄ニ出テ居リマス

○藤原銀次郎君 サウ致シマスト此處益々分ラナクナリマスカ、絹洋服地トシテ八十六俵ヲ無償ニ御拂下ゲニナツテ居ツテ、此方ノ方デハ絹洋服地ヲ矢張り有償デ、一俵五百七圓五十二錢ト云フヤウナ……政府ノ買入レ値段ハ四百五十五圓デアアルニモ拘ハラズ、其實上値段以上ニ絹洋服地ヲ御賣リニナツテ居ル、ソレカラ絹天幕ダトカ、絹「タイヤ」布地、絹「レイシコート」地ト云フヤウナ、絹ノ洋服地トカ、サウ云フモノハ此處デ賣却シテ、相當ニ高イ値段デ御賣リニナツテ居ル、一方デハ高イ値段デ御賣リニナツテ、一方デハ無償デ……高イ値段デ御賣リニナツテ居ルモノノ數量ガ非常ニ少クテ、無償デ御

第四部第一四類 地租法中改正法律案特別委員會議事速記第五號 昭和九年三月二十四日 貴族院

三

拂下ゲニナツテ居ル數量ハ非常ニ多イノデアルガ、是ハドウ云フ區別ヲナサルノデスカ

○政府委員(井野碩哉君) 是ハ買収法ノ法律ノ規定カラ來ルノデゴザイマスガ、試験研究ノ爲ニ使ヒマス場合ニハ無償讓與シテ

差支ナイト云フコトニナツテ居リマス、デ政府ガ買収生絲ヲ買収イタシマシタ當初カラ、昨今迄ハ大體試験時代ガ多イモノデゴザイマスカラ、試験ノ爲ニ無償讓與ガ相當數量ニ上ル、其ノ結果相當ノ效果ヲ得マシタモノニ付キマシテハ、業者ノ間ニ有償讓與ノ希望ガ起ツテ參ツテ居

リマスノデ、其點ハ有償讓與ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、今御話ノ買ツタ値段ヨリモ高ク賣ツテ居ルト云フ御話デゴザイマシタガ、賣リマス場合ニ於キマシテハ其當時ノ市價ヨリハ、契約ヲ致シマス當時ノ市價ヨリハ二割ヲ引キマシテ賣ルト云フコトガ生

絲需要増進調査會ニ於テ決定シ、政府モソレニ從テ處分ヲ致シマスカラ、從テ其ノ時ノ相場ガ之ニ二割ヲ加ヘマシタ値段デアリマスガ故ニ、五百七圓デ賣レテ居ルノデゴザイマシテ、買ツタ時ノ値段ヨリ高イト云フコトハ自然起ツテ來ルコトト考ヘテ居リマ

ス

○藤原銀次郎君 ドウモ未ダ能ク諒解出來マセヌノハ、試験用ト申シマス云フト、政府ノ買入レ賣却狀況ト云フ書類ヲ拜見シマシテモ、全部試験用ノヤウニ思ヒマス、例ヘバ絹タイヤ布地、絹レインコート地、絹毛交織洋服地、帝蠶絹國旗、帝蠶シル

テックス、絹レインコート地、サウシテ昭和八年十一月二十五日カラズット斯ウ云フモノヲ有償デ御賣リニナツテ居ル、然ルニ此方ノ方デハ絹洋服地ト云フモノヲ八十五俵モ無償デ御拂下ゲニナツテ居ル、是ハ絹洋服地ハ試験用ダカラ無償デ拂下ゲタト云フ御説

明デセウガ、サウスレバ絹洋服ヲ此方ノ方デ何故有償デ御拂下ゲニナツテ居ルカ、一方デ無償デ拂下ゲルカラ有償ノモノガ賣レナイコトハ極マツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ有償ナラバ有償ト云フコトニ極マレバ、是ハ有償デ又賣レルダラウト思ヒマスケレドモ、一方ニハ有償ニシテ、相

當ノ市價ノ二割引デ御賣リニナツテ居ツテ、一方デハ只デ吳レテヤルト云フコトデアリマスカラ、少シ亂暴ヂヤナイカト思ヒマス、同ジ絹ノ洋服地ヲ一方デハ市價ノ二割引ヲ以テ拂下ゲテ、サウシテ一方デハソレヨリモ澤山ノ數量ヲ無代デ拂下ゲル、ソレナラバ無代ノ生絲ガソナニ澤山アルノダ

カラ、絹洋服地ヲ無代ノ生絲ヲ拂下ゲテ作ツタ方ガ得ダカラ、誰デモ無代ノモノヲ取ル、有償ノモノガ賣レナクナルノハ當リ前ダト斯ウ思フノデスガ……之ヲ見テ……

○政府委員(井野碩哉君) 此有償ニ拂下ゲ

マシタモノハ一般初メニ於キマシテハ大體無償ニ讓與イタシマシテ、試験ヲサセマシテ、其結果ガ出マシテカラ、既ニ試験時期ガ過ギテ營業上、政府ノ生絲ヲ買ヒマシテ製作イタシマシテモ引キ合ウト云フ見込ガ立チマシテカラノ要求ニ基イテ賣ツテ居ル

ノデゴザイマス、無償讓與ノ方ハ大體今迄讓與イタシマシタ場所ハ工業試験場デゴザイマスノカ、或ハ水産試験場デゴザイマスノカ、染織試験場デゴザイマスノカ、試験場ガ主デゴザイマシテ、其試験場ニ於テ無償ニ政府カラ生絲ノ拂下ゲヲ受ケマシテ、サウシテ試験ヲシテ、其結果良イモノヲ當業者ノ企業ニ移シテ行クト云フコトニシテ居

リマスノデ、其結果ノ出マシタモノガ今度企業ノニナリマシテカラ、有償拂下ニナルト云フコトニ今迄ハ扱ハレテ來テ居リマス

○藤原銀次郎君 サウスルト其研究所ト云フモノハ政府ノ仕事デアリマスガ、民間ノ仕事デアリマスガ、又更ニ承ハリマスガ、其ノ研究所ト云フモノデ、苟モ生絲一俵デモ

無代デ拂下ゲテ居ルノデアルカラ、其ノ研究ヲ實際ハ達シテ居ルノダラウト思ヒマス、金額ニ致シマス約六十萬圓、政府ガ無代デ御拂下ゲニナツテ居ルモノハ六十萬圓ノモノヲ只研究所ガ研究ニ費ヤシテ居ル筈ハナイト思フ、必ズ之ヲ賣ツテ居ルダラウト思フ、サウ云フモノヲ研究所デ研究ト稱シテ、作ツテ賣ルカラ、此方ノ商賣人ノ方ガ賣レナクナルノデヤナイカト思ヒマス、

書類ノ方デチヨット是ハオカシイノハ有償デ拂下ゲニナツタモノガ六十萬圓、無償デ御拂下ゲニナツタモノガ六十萬圓、有償ノモノハ賣レナイト云フコトハ是ハマア當然ノコトデセウ、此邊ニ何カ政府ノ御ヤリニナルコトニ無理ガアリマセヌカト云フノデアリマス

○政府委員(井野碩哉君) 無償デ拂下ゲマシタ主ナル所ハ、主ナル數量ハ陸海軍デゴザイマス、陸海軍ガ軍服ヲ作ル爲ニ製織シタイト云フノト、軍帽ヲ作ツテ各聯隊ノ兵隊ニ使用サシテ見タイト云フノデ、六百俵

バカリ其方面ニ行ツテ居リマス、ソレカラ工業試験場デゴザイマスノカ、染織試験場デゴザイマスノカ、水産試験場等ニ配布イタシテ居リマス、大體二俵、三俵ト云フ少量ノモノヲ各品目ニ分ケマシテ讓與シテ居リ

ス

マスカラ、ソレガ市場ニ賣リ出サレテ居ルト云フコトハ今迄ナイト私共考ヘテ居リマス、從テ今御懸念ノヤウニ、其ノ賣却ニ依ッテ市場ヲ壓迫スルト云フコトハ今迄ノ所絶對ニナイト考ヘテ居リマス

○藤原銀次郎君 ソレナラバ更ニ承ハリマスガ、此無償デ千三百何俵ヲ賣リニナッテ居リマスガ、千三百七俵、此中デ民間ト政府ト御分ケニナルト其數量ガドウ云フ風ニナリマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 今迄ハ民間ハ殆ドゴザイマセスデ、試験場ト陸海軍ガ主デゴザイマス、九百十七俵ガ陸海軍デ、其他ハ大體試験場のノモノデゴザイマス、民間ハ殆ド僅カシカゴザイマセス

○藤原銀次郎君 能ク分リマシタ、サウ云フ風ニ御説明ヲ伺ヘバ能ク分リマシタ、ケレドモソレガ分ラナカッタカ伺ヒマシタ

○小林嘉平治君 此生絲ノ問題ヲ解決スルノハ結局新用途ヲ見出スト云フコトニアルト思ヒマス、此點ニ大變力ヲ注イデ居ラレ

ルコトハ最モ適當ノ處置デアルト思フノデアリマス、ソコデ今日ノ所大體ドウ云フモノニ使ヘバ宜イト云フヤウナ御見込ガ立ッテ居ルノデアリマセウカ、其様子ヲ御示シテ願ヒタイ

○政府委員(井野碩哉君) 政府ガ此生絲ヲ買収イタシマシテカラマダ日ガ淺イモノデ

ゴザイマスカラ其研究ノ結果モマダ的確ナモノヲ得テ居リマセスガ、今迄得マシタ所カラ見マスルト新用途ト致シマシテハ洋服地ニ相當ノ矢張り望ガアル、唯絹絲ダケデ

作リマシタモノハマダ非常ニ良イ成績デハゴザイマセスガ、之ト羊毛ト混織イタシマスカ、或ハ混紡イタシマスレバ今日ニ於キマシテハ生産費モ安ク、相當ノ效果ガアリ、

既ニ製品ノ進出ヲ見テ居リマス、現ニ群馬縣ニ於キマシテハ今同約一萬著ノ洋服ヲソレニ依ッテ作りマシテ縣下ノ教員ニ著セル

ト云フ計畫デ、我ミノ方ニモ政府生絲ノ賣却ヲ申込デ居ルヤウナ状態デ、各縣共ニ縣下ノ職員ナリ、教員ナリニ斯ウ云フモノヲ著セタイト云フ計畫カラ希望縣ガ續々ト

出テ來テ居ルヤウナ状態デゴザイマスカラ、ソレガ相當擴ッテ參リマスレバ此方面ニ於テ新規用途ガ見出サレルデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、又帽子ニ付キマシテハ今日殆ド試験研究ガ完成シテ居リマシ

テ相當面白イ製品ガ出來上ッテ居リマス、只魚ノ種類ニ依ッテハ絹絲デアアル爲ニ捕レナイ魚

ノ種類ガアルヤウデゴザイマスガ、ソレ等ノモノハ今日水産試験場ニ於テ種々試験ヲシテ居リマシテ、其結果是ガ若シ日本デ使ッテ居

リマス魚網全體ノ數量ノ或ル程度ヲ使ヒマスレバ之モ何萬俵ト云フモノガ其方面ニ使ハレルデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマ

ス、又其外ニ絨氈ガ相當ニ良イモノガ出來上ッテ居リマシテ、之モマダ値段ノ上ニ於キマシテハ羊毛ニ對シテ十分ニ勝テ得ル所迄

參リマセスガ、併シ出來上リマシタ製品自體ヲ見マスルト羊毛ノ絨氈ヨリモ相當良イ絨氈ガ出來上ッテ居リマス、是ハ最近二三ノ

民間會社ニ於キマシテ大々的ニ一ツ生絲ニ依ル絨氈ヲ製作イタシマシテ之ヲ海外ニ賣ッテ見タイト云フ風ニ計畫シテ居リマスガ、是等モ其實現ヲ見マスルト相當ノ生絲ヲ消費スル領域デハナイカト考ヘテ居リマ

ス、其外今日帝蠶株式會社ニ於キマシテ現在試製品トシテ需要ノ喚起シテ製作ガ間ニ

合ハナイ程度ノモノハ「レインコート」國旗デゴザイマスガ、是等ハモウ非常ニ能ク賣

レマスノデ、寧ロ手ガ足リナイト云フ状態デゴザイマス、其外絹「ローブ」デゴザイマ

スカ、天幕地デゴザイマストカ、其他種々細カイモノガ澤山ゴザイマスガ、大分用途

ニ今後望ミガアルト云フノハサウ云フ方面デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯

此處ニ問題トナリマスノハ、政府デ持ッテ居リマス生絲ハ御承知ノ如ク輸出向キ生絲デゴザイマスカラ纖維ノ非常ニ細イモノデゴザイマス、之ヲ洋服ノ材料ニ致シマシタリ、

其外ノ材料ニ致シマス時ニハ撚絲ニ致サナケレバナラヌ、染メマス時ニ非常ニ手間ガ

係ルノデ經濟的ニ非常ニ不利ナノデアリマ

ス、我ミノ理想ト致シマス所ハ斯ウ云フ細

絲カラ造ルノデナクシテ寧ロ繭カラ直接ニ

羊毛代用ノ纖維ニ代ルベキモノヲ採ッテ、サ

ウシテ生産費ヲ安クシテ羊毛ニ代用シテ行

キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯、今

日ノ製品ヲ以テ作りマシタ是等ノ品物ノ結

果ヲ見テ居リマスト相當其方面ニ於テ今後

ハ有望デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマ

ス

○藤原銀次郎君 一昨日津島理財局長カラノ御話デ、此法案ノ御趣旨ノ御説明ガアリ

マシテ、從來ハ公債ノ方ヘ繰入レタケレド

モ、今後ハ之ヲ以テ農林省ノ方ノ一般會計

ニ繰入レテ、ソレダケノモノヲ以テ農林省

ノ財源ニ充テタイト云フ趣旨ノ御説明デア

リマシテ、其際ニ私ハ數字ヲ能ク記憶イタ

シテ居リマセヌケレドモ、二百何十萬圓位
ダト云フ御説明ノヤウニ記憶シテ居リマ
ス、數字ハ間違テ居ルカモ知レマセヌ
ガ……

○政府委員(井野碩哉君) 百九十二萬圓バ
カリデゴザイマス

○藤原銀次郎君 サウスルト云フト、今迄
頂戴イタシマシタ材料ニ依ッテ見マスルト
云フト、昭和八年ノ十一月二十五日カラシ
テ昭和九年二月十三日迄ノ間ニ漸ク十六萬
七千圓ノ收入シカナカッタモノガ、今度一箇
年度ニ百九十萬圓、約二百萬圓ノモノガ賣
レヤウト云フノハドウ云フ所カラサウ云フ
數字ガ出マスノデスカ、其數字ハ斯ウ云フ
コトデ出ルノダト云フ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(井野碩哉君) 是ハ大體歳入ノ
見積リデゴザイマスカラ、的確ニ斯ウ云フ
計畫デ政府ガ賣ッテ行クト云フ譯デハゴザ
イマセヌガ、併シ今日迄賣リマシタ成績ト
目下此賣却ニ付キマシテ一年ヲ通ジテノ申
込等カラ參酌イタシマシテ内地ニ於キマシ
テハ約二千三百俵程賣レル、ソレカラ南洋、
印度、南米方面ニモ相當ニ需要ノアル見込
ガ立ッテ居リマスノデ、其方面ニ賣リマスレ
バ約二千四百俵ハ賣レヤウト云フ所カラ其
計算ガ出来テ居ルノデゴザイマシテ、現ニ

是ハ會社ノ名前ヲ一々申上ゲマスと隨分營
業ニ關係シテ參リマスカラ申上ゲマセヌ
ガ、政府ノ絲ヲ相當ニ貫ヒタイト云フ申込
ガ今日デハ内地消費以上ニ、私共ノ見込以
上ニ申込ガ来テ居リマスノデ、大體年内ニ
ハ是ダケノモノハ賣レヤウト思ヒマス、ソ
レカラ海外方面ヲ色ミ調査イタシマシテ南
米、南洋、印度方面ニモ支那絲ニ對抗シマ
シテ相當安クスレバ賣レル見込ヲ持ッテ居
リマス、十分是ダケノ歳入ハ立チ得ルト云
フヤウニ考ヘテ居リマス、今迄ハ御承知ノ
如ク試験時代デゴザイマシテ、殆ド無償讓
與デ試験サセルノガ主デ、賣リマスノハ從
デゴザイマシタガ、明年度カラハ新規ノ用
途、新規販路ノ方面ニ向ッテ極力政府所有
生絲ノ處分ニ努メテ見タイト斯ウ云フヤウ
ニ考ヘテ居リマス

○藤原銀次郎君 サウシマスト云フト只サ
ヘ生絲ガ安クテ、サウシテ今日ノヤウニ絲
價ガ段々下落シテ其結果今年ノ此春繭カラ
農民ガ非常ニ困難スルト云フ狀況ニ向ヒツ
ツアルノデスカ、其際ニ當ッテ政府ガ自分ノ
持ッテ居ル所ノ絲ヲ財源ヲ得ルト云フ目的
ノ下ニ出来ルダケ多ク賣ラウト云フヤウナ
御方針ヲ御採リニナレバ、今マデ内地用ニ
引當テラレタ生絲ガ賣レナクナッテ、詰リ政

府ノ持ッテ居ル絲ヲ御賣リニナルガ爲ニ、
一般内地向ノ生絲ガ賣レナクナッテ、其方ノ
絲價ヲ壓迫スルト云フコトニナルノハ
ドウモ免レヌ勢ダト思フノデスカ、此絲價
安定法ガ出来タノモサウ云フコトノナイコ
トヲ希望シテ、幾分デモ生絲ヲ高クシヤウ
ト云フ目的カラ出来テ来テ、サウシテ斯ウ
云フ特別ナ法律ガ出来テ實行サレテ居ルノ
デスカ、今度ハ其法律ヲ實行スル上ニ於テ、
僅カノ財源ヲ得ル爲ニ其法律ノ趣旨ニ反ス
ルヤウナコトヲ爲サルルト云フ嫌ハナイノ
デアリマスガ、今ノ御説明ヲ承ツタダケデ
ハ稍、サウ云フ嫌ガアルヤウニ見エルノデ
スカ……

○政府委員(井野碩哉君) 御承知ノ如ク此
法律ヲ作りマシタ時ニハ政府ガ生絲ヲ買收
イタシマスガ、其絲ヲ徒ラニ市場ニ賣リ出
シテ絲價ヲ壓迫セシメナイ爲ニ特ニ法律ノ
第八條デゴザイマシタカニ、新規用途若ク
ハ新規販路ニ限ッテノミ賣ッテ宜シイ、ソレ
以外ニハ賣ッテハイカヌ、即チ從來ノ消費領
域ニ向ッテ政府ノ持ッテ居ル絲ヲ賣ルト云フ
コトニナリマスレバ、絲價ヲ壓迫スルカラ
イカヌ、併シ新規用途ト新規販路デアルナ
ラバ、從來カラ其方面ニハ使ハレテ居ナイ
ノデアルカラ、其方面ニハ賣ッテ宜シイト

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御尋ハゴ
ザイマセヌデスカ

云フ所カラ、此度計畫イタシマシタモノモ、
矢張り新規用途ト新規販路ノ範圍ニ限ルノ
デアリマシテ、是ハ態、財源ヲ得ル爲ニ特
ニ無理ニ其計畫ヲ作ツタノデハゴザイマセ
ヌノデ、政府トシマシテモ極力政府ノ安イ
絲ヲ利用セシメマシテ、生絲ノ將來ノ需要
ヲ開拓スル爲ニ、新規用途ナリ新規販路ニ
ハ努メテ行キタイ、寧ロ積極的ノ消費領域
ヲ擴大スル見地ト云フ趣旨デアルノデアリ
マシテ、勿論其方面ニ向ッテ若モ國有生絲
等ガ使ハレマス場合ニ多少ノ影響スル所ガ
アルカモ知レマセヌガ、併シソレハ全體ノ
絲價ト云フ問題カラ見マスレバ極メテ僅カ
ノ問題デアリマシテ、殊ニ今度ハ政府ノ出
シマスモノモ、國內ニハ僅カニ二千俵足ラ
ズノ見込デ居リマスカラ、今日ノ絲價ニ之
ガ爲ニ影響ヲ與ヘルト云フ風ニハ考ヘテ居
リマセヌノデアリマス

○藤原銀次郎君 今度ハ方面ヲ變ヘテ承リ
タイノデスカ、是ハ大藏省ノ關係カモ知レ
マセヌガ、農林省ノ關係デモ何方デモ宜シ
イノデスカ、全體絲價安定法ニ依リマシテ
政府ガ買上ゲマシタ、是ダケノ生絲ヲ政府
ガ買上ゲテ、四千何百萬圓、是ダケノ生絲

今度ハ方面ヲ變ヘテ承リ
タイノデスカ、是ハ大藏省ノ關係カモ知レ
マセヌガ、農林省ノ關係デモ何方デモ宜シ
イノデスカ、全體絲價安定法ニ依リマシテ
政府ガ買上ゲマシタ、是ダケノ生絲ヲ政府
ガ買上ゲテ、四千何百萬圓、是ダケノ生絲

ヲ買上ゲマシテ、サウシテ是ダケノモノヲ買上ゲマシタ以上ハ、之ヲ賣ツタ時ニハ、其前デアツテ、是ガ借金ヲシテ、即チ公債ヲ發行シテ是ダケノモノヲ買ツテ、今度ソレヲ賣ル時ニハ、其金ハ農林省ノ經費ニ充テルノダ、買フ時ニハ借金シテ買ツテ、賣ツタ時ニハ其借金ヲ返スト云フコトナラバ我々ノ會計常識ニ依リマシマスガ、買フ時ニハ借金シテ買ツタケレドモ、賣ル時ニハ農林省ノ經費ノ方ニ廻シテ借金ハ返サナイノダト云フノハ、少シ資産負債ノ整理ノ上カラ云フト常識ニ反シテ取扱ノヤウニ思ヒマス、是ハ其政府ノ會計ノ立テ方ト、我々ノ會計ノ立テ方トガ違フカラデモアリマセウガ、總テ政府ハ斯ウ云フ風ニ會計ヲナサルノデスカ、其點ヲ一ツ、是ハ私ハマダ政府ノ會計ガ分ラナイカラ愚問カモ知レマセヌガ伺ヒタイ

○政府委員(賀屋興宣君) 只今ノ御質問ニ

御答申上ゲマスガ、大體御話ノヤウナ趣旨ニ依リマシテ、初メ法律ハ此買收生絲ヲ賣却イタシマシタ時ニ、其代金ヲ、買收ノ爲メ代金ニ替ヘテ交付イタシマシタ公債ノ償還ニ充テルヤウナ法律ヲ御協賛ヲ經テ居リマス、其趣旨出來テ居リマス、所ガ、只

今ノ一般會計ノ現状ハ、御承知ノヤウニ歲計ノ三割以上モ公債財源ニ俟ツ、誠ニ財政ノ非常時ノ有様デアリマス、此際ニ買收生絲ヲ返シマスコトハ、賣リマシタ代金ヲソレニ充テレバソレダケノ見合デハ片ガ付キマスガ、一方ニ經費ガ要リマス際ニ、ソレヲ返シマシテ、他方ニ募債ヲスルノトドテラガ宜イカト云フ問題デアリマス、是ハ全體ガ一般會計ノ中デ、御承知ノ通り政府ノ勘定ハ特別ニ出シマスコトハ、特別會計デ作ツテ居リマス、普通ハ一般會計ト致シマシテ、其中デ財源トソレカラ經費ノ支出トヲ相互ニ特定シナイノヲ立前ト致シマシテ、例外ニハ特定イタシマス、ソレデアリマスカラ、此際ニ是ハ九年度ノ追加豫算ノ第一號ノ經費ノ財源ニ今回ノ場合ハメテ居ルノデアリマスガ、之ヲ元ノ法律通りニ、賣リマシタ代金ヲ國債ノ償還ニ充ツト云フト、ソレダケ一方今御審議ヲ願ツテ居リマス、所謂通俗ニ申ス赤字公債ノ追加發行額ヲ殖ヤサネバナラヌ、マアドナラデモ同ジヤウナモノデアリマスガ、御承知ノヤウニ、所謂減債基金ノ繰入ヲ一方ニ償還シテ一方デ募債スルヨリモ、只今ノヤウニ公債ノ額ノ餘計出マス時ニハ、成ルベク新規發行額ハ少イ方宜シイト云フ立前デ例ノ

毎年萬分ノ百十六繰入レルモノヲ、其三分ノ一ニ止メテ、三分ノ二ハ停止イタシテ居リマス、ソレデ同ジ風ニ之ヲ今回停止スル、斯ウ云フ風ニ致シマシタ、是ガ普通ノ状態ニ歸レバ勿論御趣旨ノヤウニシテ行ク方ガ宜シイト思ヒマスガ、一時ノ措置トシテ斯ウ致シマシタ、尙ホ序ニ申上ゲテ置キマスガ、此賣拂代ハ必ズシモ農林省ノ歳出ニ充テルト云フ趣意デアリマセヌ、一般會計ノ中ニ於キマシテハ、特定ノ財源ヲ置カナイノガ本筋デアリマス、今回ハ賣上ハ農林省ノ歳出ニナツテ居ル、本年度ニ於キマシテハ一般ノ財源ニ充テル、農林省ノ歳出ノ財源ニナラヌ譯デハナイガ、農林省ノ歳出ハ歳出トシテ一般ノ財源トシテ之ヲ支辨スル斯ウ云フコトニ致シテ居リマス

○藤原銀次郎君 只今ノ御説明ハ分リマシ

タガ、尙ホ伺ヒタイト思フノハ、私共ノヤウナ普通ノ經濟思想カラ申シマスト云フト、政府ガ絲價安定ノ爲ニ四千四百四十五萬八千圓ト云フヤウナ生絲ヲ買入レタ、之ヲ有償デ幾ラ賣ツテ、無償デ幾ラ賣ツテ、サウシテ此公債ノ利息ヲ幾ラ拂ツテ、サウシテ其他ノ雜用ヲ幾ラ拂ツテ、結局之ニ付テ政府ガドレダケ損ヲシタト云フコトノ勘定ガ出ルノガ當り前ト思フ、マア此計算法カラ言ヘバ

是ダケノ四千四百萬圓ノ生絲ヲ買ツテ、サウシテ絲價ヲ安定サセル爲ニ、當業者ニ利益ヲ與ヘタイト云フ其目的ヲ達シタガ、併ナカラ其處分トシテ之ヲ是ダケ賣ツテ、是ダケ雜用ガ掛ツテ、是ダケ値引イテ賣ツテ、結局利息ハ是ダケ掛ツタカラ、結局是デ政府トシテ幾ラ損ヲシテ居ルト云フコトガ分ルト云フコトデナイト、本當ノ計算デヤナイト思フ、是ガ我々ノ所謂普通ノ經濟思想ダト思フ、即チ普通ノ經濟ノ頭カラ言フト、斯ウ云フ思想ニナルノデスカ、今ノヤウナ御話ノヤウニスルト云フト、是ダケノモノヲ買フコトハ買ツテシマツテ、錢ハ出シテシマツタラ更ニ安ク賣ツタラダト云フヤウナコトニナツテ、結局此四千四百萬圓ノ生絲ノ處分ガ譯ガ分ラナクナツテ、無茶苦茶ニナツテ何處ヲ押ヘルコトモ何モ出來ナイモノニナツテシマツテ、詰リ四千四百萬圓賣放シテ、結局生絲ノ處分ノ行方ガ曖昧ノヤウナモノニナルト云フ虞ガナイカト云フコトヲ、マア普通常識カラ考ヘルノデスカ、其點ハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 御答申上ゲマ

ス、今ノ御話ハ大體私ハ誠ニ御尤ノ御話ダ
ト思ヒマス、此財政ヲ、會計ノ工合ヲ法律
的ニ御説明申上ゲマシレバ、一般財源デー
般經費ヲ賄フト云フコトヲ申上ゲマシタ
ガ、其中ニ於キマシテモ此見合ヲ取リマス
モノニ付キマシテモ、始終サウ云フ風ニ考
ヘテ居リマス、是ハ恐ラク農林省ノ方デ御
資料ヲ御持合デゴザイマセヌデセウガ、從
來生絲ノ値ガ下リマシタリ、色ミノ場合ニ
政府方直接買ヒマシタリ、或ハ間接ニシマ
シテモ此滯貨生絲ノヤウナ問題ハ兩三回
起ツテ居リマス、常ニ我ミハ生絲ノ問題ヲ考
ヘマスル時ニ、結局ヤレバ大概今マデノハ
利益ニナツテ損ハ致シテ居リマセヌ、結局好
イ結果ニナツテ居リマス、尤モ只今ノヤウニ
人絹ノ壓迫ガアリマシタリ、亞米利加ニ於
ケル絲價モサウ急激ニ期待出來ナイ場合ハ
ドウカ分リマセヌガ、サウ云フ工合デ今日
一般會計ノ中ニ於キマシテモ計算ヲスルコ
トハ十分出來マス、幾ラ公債ヲ發行シテ、
利子ヲ幾ラ拂ツテ、元金償還ヲ幾ラシテ、サ
ウシテ損失ニナルモノハ幾ラ、一方農林省
ノ方デ生絲ヲ何時幾ラデ賣ツタト云フコト
ハ分リマス、其會計ノ上ノ義務トシテ別計
算ヲシロト云フコトハ出來マセヌデモサウ
云フ計算ハ十分出來マス、今マダ賣タテデ

アリマシテ、マダ餘リ時機モ進ンデ居リマ
スガ、始終農林省ノ方デ賣ラレタ數、國債
ノ方デ使ヒマシタモノ、ソレカラ又將來此
生絲ニ付キマシテ是程ノ經費ハ要ラナイト
思ヒマス、或ハ場合ニ依リマシテハ經費ガ
要ル場合ガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ
計算上睨合ハシテ出マス次第アリマス、
サウ云フコトモ常ニ政府ノ出シマシタモノ
ノ效果ガドウカ、一般ノ經濟界ニ及ス效果
以外ニ自分ノ方ノ計算ヲスルト云フコトハ
十分ニ考ヘテ居リマス、サウ云フモノハ出
來ルダケ致ス積リデ居リマス

ト思ヒマス
○政府委員(實業興宣君) ソレハ出來テ居
リマセヌ、ソレハ今申上ゲタヤウニ立前ト
シテ必ズヤラナケレバナラヌト云フ風ニ考
ヘテ居リマセヌ、率直ニ申上ゲマシレバ今
マデハ殆ド賣レマセヌデ、大體ハ今農林省
カラ出テ居リマスルヤウナモノハ……賣レ
ルノハ今カラデアリマス、始マリマシタノ
ハ七年度、八年度ガマダ終リマセヌヤウナ
譯デ、公債モマダ渡リマシテモ少イノデア
リマス、只今ハ出來テ居リマセヌ、率直ニ
申上ゲマシタマダ睨合セテ細カク見ル程ノ
時ニモ行カヌト思ヒテ居リマス、唯追々必要
ガ生ジマシタナラバト、サウ云フヤウニ考
ヘテ居リマス

ウト云フコトニナルト思ヒマス、ソレデア
リマスカラ若シ今度ノ此法律ノ改正デ以
テ、公債ノ方ハ償却シナイデ是ガ一般會計
ニ組入レラレテ、其經費ガ農林省ノ方ヘ廻ッ
テ行クト云フコトハ、農林省ノ必要上已ム
ヲ得ナイカ知レマセヌガ、矢張り斯ウ云フ
ヤウナ一ツノ仕事ヲ爲サルノダカラ、四千
四百萬圓ト云フト餘リ小ナイ金高デハナイ
ノデアリマスカラ、此絲價安定ト云フコト
ニ付テノ損益勘定ト云フモノヲ立テテ、サ
ウシテ結局毎年々々一遍宛計算ヲシテ行ッ
テ、結局最後ニ行ッテ之ニ對シテ國庫ハ四
千四百萬圓ノ生絲ヲ買ツテ是ダケ損ガ行ッ
トカ、是ダケ得ガ行ツタトカ或ハ是ハ斯ウ
云フ結果ガ付イタトカ云フヤウナコトガ明
瞭ニ分ルヤウニシテ置イテ頂イタナラバ、
又後デ斯ウ云フ類似ノ問題ガ出テ來タ時ニ
非常ニ參考ニナツテ、研究ノ上ニ非常ニ好都
合デアラウカト思ヒマス、是ダケ私ノ希望
ヲ申上ゲマス

○藤原銀次郎君 昭年七年カラ始マツテ居
ルノデス、七年度、八年度ノ計算ガ出テ居
リマスカラ、只今ノ御説明ノヤウデアルト、
昭和七年度ノ此生絲絲價安定法ニ依テ此生
絲ヲ買入レテ、是ダケ買入レテ、是ダケ利
息ヲ拂ツテ、ソレカラ是ダケ差引キ、是ダケ
ノ損ニナツタトカ、昭和八年度デハ是ダケ無
償ノ生絲ヲ……今農林省ノ御説明ノ通り無
償ノ生絲ヲ六十萬圓モ出シテ居ル、斯ウ云
フ風ニシタラ是ダケ損ガアツタトカ、サウ云
フヤウナ計算ガ出來テ居ルト云フノカ、或
ハヤレバ出來ルト云フ御説明カチヨット私
ニハ分リ兼ネマシタガ、若シサウ云フ計算
ガ出來テ居ルナラバ、其計算ヲ拜見シタイ

○藤原銀次郎君 能ク御説明ハ分リマシタ
ガ、此際私ハ私ノ希望ヲ一言申述ベサシテ
頂キタイト思フコトハ、ドウモサウ云フ風
デアリマス云フコト、計算ヲスレバ此四千
四百萬圓ノ生絲幾ラ損ヲシタト云フコト
ガ分ルト思フ、計算シナイト分ラナイノデ
アリマスカラ、斯ウ云フ法案ガ出タカラス
ウ云フ問題ガ起ルノデスケレドモ、若シ法
案ガ出ナケレバ計算モシナイデ質問スル者
モナシ、詰リ結局四千四百萬圓ガドウナッ
テシマツタカ譯ガ分ラヌデ濟ンデシマ

○男爵長基連君 只今ノ問題ニ付キマシテ
チヨット御伺ヒ致シマスガ、只今ノ御説明デハ
公債財源ヲ……公債發行ノ限度ヲ多クスル
ガ爲ニ生絲ノ賣却代金ヲ一般會計ニ入レル
ト云フ御話デアリマスガ、サウシマスト斯
ウ云フヤウナ關係ニアルモノハ、マダ私ハ

ト云フ御話デアリマスガ、サウシマスト斯
ウ云フヤウナ關係ニアルモノハ、マダ私ハ

澤山アルト思ヒマスケレドモ、サウ云フモ
ノハ總テ將來ハサウ云フ風ナ御考デ御處置
ニナル御積リデアリマスカ、又外ノ會計デ
モ斯ウ云フヤウナモノハアリハシナイカト
思ヒマス、アルカナイカハ分リマセヌガ、
アレバ總テ公債發行ヲ餘計ナラシムルガ爲
ニ、斯ウ云フ風ナ賣却代金ト云フモノハ本
當ナラバ公債ノ減債ニ充テナケレバナラヌ
ノヲ、斯ウ云フ際デアアルカラシテ一般會計
ニ入レルト云フ御説明ト伺ヒマシタガ、サ
ウデゴザイマスカ、總テサウ云フ方針デ將
來御ヤリニナル御考デアリマスカドウデゴ
ザイマスカ

○政府委員(實屋興宣君) 只今ノ御質問デ
アリマスルガ、所謂此事業公債デアリマス、
財政上普通公債ト致シマシテ支辨シテモ普
通ノ立場カラ差支ヘナイト言ヒマスガ、事
業公債ノ如キモノ以外ニ赤字公債ヲ出シテ
居リマスモノハ只今ノ所一般會計ダケデア
リマシテ、特別會計ノ中ニハ相當會計ノ狀
態ノ宜シイト申シ得ナイモノモアリマスル
ケレドモ、只今ノ所ハ事業公債發行ノ限度
ニ止マツテ居リマシテ、所謂赤字公債ノ發行
マデニ行ツテ居リマセヌ、斯ウ云フ風ナコト
ハ外デハチヨット考ヘラレマセヌ、マア大體
一般會計ノ問題デアリマスガ、一般會計ニ

於キマシテハドシナ場合ヲドウスルカト云
フ御尋ニナリマスルト、ソコ迄ハマダ決定
シテ居リマセヌ、今回モ既ニ御協贊ヲ經マ
シタノデスガ、農林省ノ追加豫算ノ出マス
際ニ、免ニ角本豫算マデハ之ヲ滯貨買
收生絲ヲ賣リマシテ、餘計收入ガアルト
云フコトハ的確ニ分ツテ居リマセヌ、ソ
レ程ノ問題ヲ起シテ居リマセヌデスガ、
農林省ノ所謂農村ニ關シマスル追加豫算ヲ
出シマス際ニ益、其公債ノ額ハ殖エル、新
規發行ハ差控ヘタイト云フ時機ニ當ツテ、
丁度一方ニ斯ウ云フ歳入ガアリマス際デゴ
ザイマスカラ、之ヲ公債ノ償還ニ當テルヨ
リモ、ソレヲ充テナイデ赤字公債ノ額ヲ減
ラシタ方ガ適當デアラウト云フ考慮ヲ致シ
マシタ、今後總テサウナルカト云フ御尋ニ
ハ只今ノ所マダ明白ニ左様デゴザイマス
ト御答申上ゲ兼ネルノハ、マダ少シ熟シナイ
ト考ヘテ居リマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 何方カ御
尋ハゴザイマセヌデセウカ、御尋ガゴザイ
マセヌケレバ採決ニ移リタイト思ヒマス、
御意見ノ御有リノ御方ハ此際御陳述ヲ願ヒ
マス、絲價安定融資擔保生絲買收法中改正
法律案、政府案通りデ御異議ハゴザイマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御異議ハ
ナイト認メマス、此法案ハ是デ確定イタシ
マシタ

次ニ所得稅法中改正法律案、之ヲ議題ニ
供シマス、是ニ付キマシテ政府ノ説明ヲ求
メマス

○伯爵兒玉秀雄君 私カラ質問ヲ一ツ……、
此法案ハ衆議院カラ提出セラレタモノデア
リマシテ、政府デモ定メシ御説明ニ御困リ
ナコトダラウト思ヒマスノデ、私ノ知ツテ居
ルコトダケヲ申上ゲテ政府ノ御意見ヲ承リ
タイト思ツテ居リマス、此法案ハ所得稅法ノ

第六條ノ第二項ヲ削ルト云フノデアリマス
ガ、法案ガ甚ダ面倒デ分リニクウゴザイマ
スガ、例ヲ以テ茲ニ私ハ申上ゲテ見タイト
思フノデアリマス、此處ニ五十萬圓ノ資本
ヲ持ツテ營ム法人ガ二色アリマス、其五十萬
圓ヲ持ツテ營ンデ居ル法人ガ五萬圓ノ利益
ヲ得タト云フ場合ニ於キマシテハ、其五萬

圓ヲ標準トシテノ所得稅ガ掛カルノデアリ
マス、然ルニ他ノ一方ニ於テ同ジク五十萬
圓ノ資本ヲ持ツテ四十五萬圓ノ缺損ヲ持ツテ
居ル法人ガアルノデアリマス、ソレガ偶、
好景氣ノ爲ニ五萬圓ノ利益ヲ擧ゲタ場合ヲ
想像スルノデアリマス、其時分ノ課稅ガ問

題ニナルノデス、其時分ノ課稅ハ、本法ニ
依リマスルト云フト、先ヅ五十萬圓ノ資本
ニ對シテ五萬圓ノ利益ヲ得タ、ソレニ對シ
テ課稅シタ、ソレト同一ノ課稅ヲ受クルノ
デアリマス、而シテ此第二項ガアルガ爲ニ
五十萬圓ノ資本カラ四十五萬圓ノ缺損ヲ引
イタ五萬圓ニ對シテ、今度ハ五萬圓ノ利益
ガアルト云フトニ付テ又二重ニ課稅ヲ受
クルノデアリマス、其二重ノ課稅ハ果進的
ニ受クル結果トナリマスルノデ、第一ノ場
合ニ於テハ僅ニ二千五百圓ノ課稅ヲ受クル
ニ拘ラス、第二ノ缺損四十五萬圓ヲ持ツテ居
ル會社ハ一萬二百圓ノ稅ヲ納ムルト云フ奇
態ナ結果ヲ此處ニ生ジテ來ルノデアリマス、
ソコデ此第二項ヲ削ツテ行キタイ、而ツテ施行
期日ハ之ヲ勅令ニ讓リタイト云フノデアリ
マス、此改正案ハ嘗テ地租委讓ノ際ニ伴ヒ
マシテ大藏省カラ此通りノ改正案ガ出タノ
デアリマス、然ルニ地租委讓ガアア云フ風
ニナリマシタモノノデスカラ其際ニ採用ガ出
來ナカッタノデアリマス、而シテ衆議院ニ於
キマシテ、此提案者カラ政府ニ質問ヲ致シ
マスルト云フト、政府委員ノ説明ニ依リマ
スルト云フト、嘗テ大藏省ニ於キマシテモ
此改正案ノ趣旨ト同様ノ趣旨デ議案ヲ提出
シタコトガアリマス、而シテ愈、此案ガ通過

シマシタナラバ、其時ニハ政府トシマシテハ善處シタイト、斯ウ考ヘテ居リマス云フ、斯ウ云フ答辯ヲシテ居ルノデアリマス、ソコデ理論ノ上カラ申シマスルト云フト、大藏省ニ於キマシテモ異議ノナイコトデア

勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトデアリマスカラ、便宜ニ御施行ニナツタラ宜イト思ヒマスルガ、本法ノ之ニ對シテ御同意ヲナサル意思ガナイカト云フ事柄ヲ伺ヒタイ

ヲ弄バレテ居ルノデアリマスルガ、爾來一年間稅制整理ハ何ヲシテ居ッタノデスカ、今年又衆議院ノ方カラ此ニ案共此委員會ニ衆議院ヲ通過シテ付託サレテ居ル、茲ニ又所得稅法ガアツテ、此所得稅法ノ如キハ私實ニ道理ガアル改正デハナイカト思フノデア

ソレト同時ニ考慮スルト斯ウ云フコトデアリマシタ、所ガソレガ何時ヤルノカト云フコトヲ豫算委員會、本會デ私ガ大藏大臣ニ訊クト、今調べテハ居ルガ何時ト云フコトハ言ハレナイト云フ、サウスルトハ殆ド無期限デアアル、唯此稅ノ性質自身甚ダ面白クナイト云フモノニ付テ、將來稅制ノ

ルノデ、唯此條項ダケヲ改正ラスルト云フコトハドウカト云フコトガ一點ノ問題ニナツテ居ルノデアリマスルケレドモ、昨今小サナ會社ニ於キマシテ景氣ノ挽回シタ爲ニ此適用ヲ受ケルモノガ可ナリ多イノデアリマ

ニ御答ヲ申シマス、本案ハ相當理由アルモノト認メラレマスルケレドモ、此際法人ノ超過所得算出ノ基礎デアリマスル資本金額ノ計算方法ヲ改正イタシマスルコトニ關シマシテハ、尙慎重考慮ヲ要スル點ガアリマ

アリマスルノデ、之ヲ又再ビ稅制整理ノ中ニ隱レテ曖昧ニ葬リ去ラムトスルガ如キハ私ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、殊ニ衆議院ニ於テノ政府委員ノ說明ハ、兩院方通過シタナラバ政府ト致シマシテハ善處イタシ

白クナイト云フモノニ付テ、將來稅制ノ改正ヲスル考デアアルカラ延バンシテ置キタイト斯ウ云フ、甚ダ不親切ナヤリ方ヂヤナイカト私ハ思フノデアリマス、果シテ其稅制改正ノ調査ヲ此八年度ニ於テ實行スルト云フコトヲハッキリ仰シヤルナラバ、ソ

ス、ソコデソレガ爲ニ今日此改正ヲシテ實ヒタイト云フ希望ガ出タモノト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ說明ニ依リマスレバ、此爲ニ國庫ノ減收ガ約二十萬圓アリマス

スノデ、又財政上ニモ相當ノ影響ガゴザイマスノデ、政府ト致シマシテハ今俄ニ贊成スルコトハ出來マセヌケレドモ、政府ハ目下稅制改正準備委員會ニ於キマシテ、國及地方ノ稅制ノ改正ニ關シテ其全般ニ互ツテ折

院ニ於テノ政府委員ノ說明ハ、兩院方通過シタナラバ政府ト致シマシテハ善處イタシマスト云フコトヲ明言スル以上ハ、貴族院ニ於テモウ少シ誠意アル御答辯ヲ願ハヌコトニハ此儘ニ置クコトハ出來ナイト思ヒマ

ルト云フコトヲハッキリ仰シヤルナラバ、ソレハ私ハ延バスト云フコトモ差支ナイト思ヒマス、所ガソレガハッキリセヌノナラバ、一少部分デモ、苛斂誅求デアルト云フモノハ寧ロ改正シテヤル方ガ國民ノ爲ニナルノ

デアリマスカラ、私ハ此機會ニ於キマシテ、此所得稅法中、他ニ改正ノ項ガアルカモ知レマセヌケレドモ、此六條ニ項ヲ削ルト云フコトハ是ハ直ニ政府ガ御同意ニナリマシ

テ、之ヲ實行シタラドウカト云フ意見ヲ持ツテ居リマスノデ、政府ハ既ニ兩院ヲ通過シタナラバ善處シタイト云フ御意見ヲ發表サレテ居リマスガ、更ニ進ンデ私ハ、政府ハ直ニ之ヲ實行サレ、而シテ其施行期日ハ

角調査考究ヲ重ネテ居リマスルカラシテ、本案ノ趣旨ニ付キマシテハ十分慎重ニ考慮ヲ加ヘル考デゴザイマス、御答致シテ置キマス

デアリマスガ、ソレヲハッキリ承リタイ

フコトハ是ハ直ニ政府ガ御同意ニナリマシテ、之ヲ實行シタラドウカト云フ意見ヲ持ツ

テモ、營業收益稅ニ關スル問題ニ付キマシテモ、政府ニ於テハ其趣旨ヲ認メテ、而シテ營業收益稅ニ關係シテハ稅制整理ノ方ノ問題トシテ速ニ之ヲ實行スルト云ツテ遁辭

○伯爵兒玉秀雄君 昨年地租法ニ付キマシテモ、營業收益稅ニ關スル問題ニ付キマシテモ、政府ニ於テハ其趣旨ヲ認メテ、而シテ營業收益稅ニ關係シテハ稅制整理ノ方ノ問題トシテ速ニ之ヲ實行スルト云ツテ遁辭

○加藤政之助君 此際ニ私一言附加ヘテ置キマス、今兒玉伯爵ノ御話ガアッタノデアリマスガ、營業收益稅ノ方ノ改正ノ時ニ、私ハ政府ニ質問シタノデアリマス、矢張り今ノ政府委員ト同ジヤウナ答辯ヲシテ居ラレ

ハ直ニ之ヲ實行サレ、而シテ其施行期日ハ

問題トシテ速ニ之ヲ實行スルト云ツテ遁辭

○加藤政之助君 此際ニ私一言附加ヘテ置キマス、今兒玉伯爵ノ御話ガアッタノデアリマスガ、營業收益稅ノ方ノ改正ノ時ニ、私ハ政府ニ質問シタノデアリマス、矢張り今ノ政府委員ト同ジヤウナ答辯ヲシテ居ラレ

マシテ、サウシテ改正ヲシテ行クコトヨリ

モ、目下税制改正調査委員會ガ折角調査ヲ進メテ居リマスルノデ、其調査委員會ニ於テ根本ノ税制ヲ改革スル際ニ考慮シタイト云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○藤原銀次郎君 私モ只今兒玉サン、加藤サンノ御趣意ニ賛成ノ一人デアリマスガ、政府ニ伺ヒタイノハ此法案ヲ只今兒玉伯爵ノ御説明ノ通りニ理論的ニ考ヘテ、衆議院ノ案ニ付テハ、政府ハ之ヲ此衆議院ノ案ニ付テノ趣旨ニ付テ御賛成デアルノデスカ、反對デアルノデスカ其點ヲ御伺シタイ、改正ハ一緒ニシタイト云フ御趣意ト云フコトハ今ノ御答辯デ分リマシタガ、此案ノ趣旨ニ付テハ御同意デアルカ、御反對デアルカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(石渡莊太郎君) 此問題ハ理論ノ問題トシテハ現行法ノ方ガ至當ト思ヒマス、實際ニ動イテ居ル所ノ資本ニ對シテ何「パーセント」儲カッタカ、其儲ケノ多イ部分ニ付テ、餘計ニ税金ヲ納メル、斯ウ云フコトデアリマスカラ理窟ノ問題ト致シマシテハ、私ハ現行法ハ超過所得稅ヲ認メマスル以上ハ正當ト思ヒマス、從ヒマシテ此繰越損金ヲ引イテ見テヤラナイ、即チ實際ニ動イテ居ル資本金額ヲ膨マシテ見テヤルト云フヤリ方ハ不合理ト思ヒマス、但シ實際上ノ間

題トシテハ繰越損金ノ多イ會社デアツテ、資本金ノ減ツテ居リマス會社ニ付テハ、實際上ノ場合ニ於キマシテ可ナリ苦痛ヲ訴ヘル會社ガアルト思ヒマス、ソレデ此改正ノ趣旨ニ關シマシテハ必ずシモ惡イトハ存ジテ居リマセヌガ、サウ云フヤウナ改正ヲ致シマスコトニ付キマシテハ、更ニ全般的ニ尙ホ色ミナ點ニ於キマシテ考ヘル餘地ガアルノデハナカラウカト斯ウ考ヘテ居リマスノデ、寧ロ一般的ノ税制整理ノ際ニ讓ツテ

○藤原銀次郎君 サウスルト其全體ノ理論的ニ考ヘレバ現行法ノ方ガ宜イガ、實際的ニ考ヘレバ衆議院ノ案ガ安當ト思フカラ、之ヲ改正スルト云フコトニ付テハ異論ガナイ、斯ウ云フ風ナ御説明デスカ、或ハ其改正スル意思ガナイト云フ御考デアリマスガ、其點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(石渡莊太郎君) 改正スル意思ガ全然ナイト云フコトヲ申上ゲル譯デハゴザイマセヌ、唯此問題ヲ今此處デ改正イタズ、從テ是ガ爲ニ數十萬圓ノ歳入缺陷ヲ生ズルト云フ全體ノ計畫ヲ致シマセヌデ、一部分ノ改正ヲ致スト云フコトハ如何カト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○小林嘉平治君 私ハ只今條文ヲ手ニシテ

浮ンデ來ク意見デアリマスノデ、或ハ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、先刻カラノ兒玉伯ノ事實ニ付テノ御話ヲ承リマス、如何ニモ御尤ノヤウニ考ヘルノデアリマス、併ナガラ今此提案ノ趣旨其モノヲ其儘受入レマシテ、第二項ヲ削ルト云フコトニ致シマスト、此爲ニ影響スル所ハ外ニモ多クアルデヤナイカト云フコトヲ私ハ痛切ニ感ジマスノデ、又一面脱稅ノ趣旨デ以テ、會社ニ

依ツテハ超過所得金ヲ逃レル意味デ以テ、相當ノ計算ヲ拵ヘ得ルデヤナイカ知ラヌト云フヤウナコトモ考ヘルノデアリマス、此第二項ハサウ單純ニ考フベキモノデナイノデ、兒玉伯ノ御シヤルヤウナ事實モアルカラ、ソレモ頭ニ入レテ、相當緩和スル必要ハアリマスケレドモ、私ハ此第二項ハ單純ニ削ツテシマフト云フト、其影響スル所ハ非常ニ多クナリハシナイカト云フコトヲ直感スルノデアリマス、其點ニ付テ政府ノ御考ヲ承リタイ

○政府委員(石渡莊太郎君) 小林サンノ御シヤルヤウナコトモナイコトハナイト思ヒマス、唯政府ト致シマシテハ此前昭和四年ノ税制整理ノ際ニ於キマシテハ、只今茲ニ御提案ニナツテ居リマスヤウナ法案ヲ提出イタシタコトガゴザイマスガ、此超過

所得稅ト現實ノ納稅上ノ負擔ト云フ問題ニ關シマシテハ、昭和六年ノ税制整理ノ際ニ於キマシテハ、寧ロ小法人ダケ超過所得稅ヲ免ジタラドウカト云フヤウナ考ヲ致シマシテ、其案ハ議院ニハ提出イタシマセヌデシタケレドモ、税制整理案トシテ閣議ノ決定ヲ受ケケノデゴザイマス、從テ此超過所得稅トソレカラ實際上ノ資本金ノ計算ト云フ問題ニ關シマシテ、確ニ今ノ提案サレテ居

ル方法モ一方法カト思ヒマス、但シ之ニ依ッテ或ハ多少ノ所謂脱稅ニ寄與スルト云フヤウナモノガ生ズルト云フ懸念ノナイコトモナイヤウニ思ハレマス、其點ハ十分考究シテ見ナケレバナラヌカト思ツテ居リマス、又小法人ニ免稅スルト云フヤウナヤリ方モ一方法カト思ヒマス、又超過所得稅其モノガ寧ロ是ハ止メタ方ガ宜イデヤナイカ、法人ニ累進課稅ヲ致スト云フコト、其コト自體ガ不合理ナ結果ヲ來スノデアツテ、例ヘバ資産ノ非常ニ大キナ會社、内容ノ充實シテ居ル程超過所得稅ト云フモノハ少クナツテ來ル、内容ノ堅實デナイ積立金アタリノ少

イ會社ガ餘計ニ税金ヲ負擔スル、一面ニ於テハ資産ヲ餘計ニ持ツテ居レバ持ツテ居ル程税金ガ安クナリ、少ナケレバ少イ程税金ガ多クナルト云フコト自體ガ一體不都合ナノ

タト云フコトニ付テノ最モ顯著ナ例、即チ動イテ居ル資本金ガ少ナケレバ少ナイ程餘計ニ税金ガ掛ルト云フ一ツノ最モ顯著ナル例ヲ……茲ニ改正ヲスルト云フコトハ、私ハ別ニ徵稅ノ實際上極メテ不都合ダト申上ゲテ居ル譯デハゴザイマセヌ、超過所得稅ノ改正法トシテノ一方法ダト思フト云フコトヲ申上ゲテ居リマス、併ナガラ必ズシモ是ガ唯一ノ方法デハナイ、更ニ外ノ方法モアルノデ、ソレ等ニ付テ十分考究シテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居リマスカ次第デアリマス

○金子元三郎君 政府委員ノ御話モ能ク分

リマシタガ、只今ノ御話ヲ見ルト、政府ハ租稅ヲ取ル、唯税金ヲ取ルト云フコトダケノコトヲ主トシテ考ノ根本ニ置カルルヤウデアリマスルガ、租稅ヲ取ルト云フ上ニ於テ其働キヲナス會社ノ實體ガドウデアアル、成程單ニ資本金ガ五十萬圓デ五萬圓上ゲル、或ハ四十五萬圓ノ損ヲシテ居ルノデ、五萬圓ダケノ資本金デ以テ五萬圓上ゲル、ソレハ割合ニ多ク上ゲタヤウデアリマスケレドモ、元來會社ノサウ云フ風ニナッタト云フ其會社ノ實體ガ元カラノコトヲ考ヘテ見マシタナラバ、ドウシテサウナルカ、四十萬圓ノ缺損ヲ上ゲタト云ヘバ、帳面ノ上

デ缺損ヲ上ゲテ居ルガ、ソレハ借入金ニナツテ居ルカ、何ニナツテ居ルカ、或ハ財産ガアツテ、サウ云フコトノ働キヲナス上ニ置イテアルコトモアルノデアリマスカラ、ソレデ實際租稅ヲ増ス上ニ於テハ、其會社ナラ其會社ノ實體ヲ能ク調べテヤラレル事柄デナイイカト思フノデアリマスカ、併シ斯ウ云フコトニ付テハ、大變是ハ議論ノアルコトデゴザイマスカラ、ソレハ暫ク措クトシマシテ、併シ先刻來一部ノ改正ヲスルコトハドウアラウカト、稅制整理ヲ今研究シテ居ルカラト云フコトデアリマスケレドモ、是モ先刻兒玉伯ノ申サレタ如ク、稅制整理ト云フコトハ、本年初メテノコトデナク、前年カラ稅制整理ヲヤル、其コトヲ研究シテ居ルト云フコトガアツテ、尙ホ其コトガ實際現ハレテ居ラナイ、併ナガラ長イ間ノ稅制整理ヲ議會ニ於テ申述ベラレテ居ルノデアリマスカラ、大分サウ云フコトモ進行シテ居ルコトト思ヒマスシ、又其整理ノ結果ヲ見ルコトモ無期限ニアル譯デモナイト思ヒマス、ソレデアアルカラ此貿易ニ付テハ、施行期日ハ勅令ヲ以テ定メルト云フ實際上ノコトニ付テハ、ソレダケノ餘裕ヲ置クト云フコトデアレバ、強ヒテ此一部改正ヲシ

テモ宜イノヂヤナカラウカト思フノデ、ソレカラ又財政上ノ方カラ言ッテハドウカト云フヤウナ議論モアリマスケレドモ、是ハ見方ニ依ッテ、色ミアルノデ、小林君ノ説デハ超過所得ヲ隱スノデアルトカ、脫稅ノ意味ヲスルヤウナコトハナイカ、ト云フヤウナ御話モアリマシタケレドモ、ソレハサウ云フコトヲスルナラバ、法律ヲ改メテモ改メナイデモヤルモノハヤルノデ、ソレハ此今法律改正ニ於テハ、問題ハナイダラウト思フノデアリマス、デ大藏大臣ハ赤字公債ノ連發デ、財政ノ基礎ヲ危クセムカト云フコトガアツテモ、サウ云フコトヲスルノデ實際財界ガ潤フテ來ルノデアルカラ、自然財界ニ力ガ付イテ、自然ノ增收モ多クナルト云フコトヲ申シテ居リマス、而シテ其通リデアアルヤウニ思ハレル、又現ニ或新聞ヲ見マシテモ、或地方ニ於テ、或稅務監督局ガ發表シタ所ニ依ッテ見テモ、餘程ノ數字ガ現ハレテ、增收ガ現ハレテ居ルノデアアルカラ、大藏大臣ノ言ハレルコトガ實際ニ現ハレテ來テ居ルノダト、私共思ッテ居ルノデアリマスカラシテ、サウデアアルトスレバ、今此本法ヲ施行スル上ニ於テ、僅カ三十萬トカ四十萬トカ云フコトデ、假リニソレ位ノコトハ賄ヒ切レルノデハナイカ、併

シソレハ今暫ク經ッテ、大藏省ノ方デ全國ノ增收ノ模様ヲ御覽ニナレバ分ルダラウ、併ナガラ今此財政ノ上ニ於テ、何デモ彼デモ赤字ヲ減ズルト云フコトハ、ソレハ立前ハ結構ナコトデアアルガ、一面之ヲ改正スルガ爲ニ、所謂大藏大臣ノ元ヲ培養スルト云フヤウナ御趣旨ニ叶フコトモ政府トシテハ強ヒテ此コトニ付テ絕對ニ反對ヲサレルト云フヤウナ意味ノ考ハナクテモ、何トカ融通ノ付クモノデハナイデセウカ、現ニ兒玉伯ノ申サレタ通り衆議院デハ通過シタナラバ政府ハ其時ニ於テ善處シタイト考ヘル、斯ウ云フ餘裕ヲ以テ、餘地ヲ以テノ御答ナノデアリマスカ、此席デハ仰ッシヤルノガ仰ッシヤラレヌノデアリマスカ、ソレヲ一應……

○政府委員(上塚司君) 金子サンノ御質問

ニ御答ヘ申シマス、政府ト致シマシテハ、先程申シマシタ通り個々別々ニ斯ノ如キ法案ノ通過スルコトニ付キマシテハ、目下稅制改正調査委員會ニ於キマシテ研究ヲ進メテ居リマス所デアリマスカラシテ、甚ダ同意シ兼ネル所ガゴザイマス、併シ此理由ノ存スル所ハ認メテ居ルノデアリマス、決シテ根本改正ノ場合ニ於テ十分成案ヲ得テ、其趣旨ニ依ッテ進ミタイト考ヘテ居リマス

○伯爵兒玉秀雄君 成程大藏省關係デハ稅

制調査ト云フ便宜ナ機關ガアルカラ、ソレ

ニ雲隠レスル便宜ガアルカ知ラスガ、現ニ

金錢債務調停法ニ對シテモ、衆議院カラノ

提案ニ對シテ、此議會ニ於テハ一部改正ヲ

承認スルデアラウト思ヒマス、尙ホソレカ

ラ又民訴ノ中ノ一條ノ改正ニ付キマシテ

モ、本會議ニ於テ法文不備ノ爲ニ或ハ成立

ハ見ナイニシテモ、嚴重ナル決議案ヲ以テ

政府ハ速ニ之ヲ來年度議會ニ於テ現ハスヤ

ウニト云フ決議案ノ提出ニ行クマデノ事情

ニナツテ居リマス、從テ假令個々ノ問題トハ

云ヒナガラ、此所得稅改正法ノ如キハ、矢

張り宜イモノハサツサト御改メニナルコト

ガ宜イト思フノデアリマス、ソレモ亦稅制

整理ニ依ツテ來年ノ議會ニ御出シナニル

云フコトノ御言明カ出來レバ、ソレハ私更

ニ結構ト思フノゾ、其點ニ付テモウ一應政

府ノハツキリシタ御言明ガ得タイト思ヒマ

ス

○藤原銀次郎君 政府ノ御答ノ前ニ一ツ承

リタイト思ヒマスガ、是ハ非常ニ重大ナ問

題ト思ヒマスガ、稅制整理ト云フモノト一

緒ニヤリタイト云フコトハ御尤デアリマ

ス、併ナガラ其稅制整理ハ何時完了シテ、

何時ノ議會ニ御提出ニナリマスカト云フコ

トモ、兒玉伯ト同様ニ承リタイデスガ、若

シソレガデスネ、其稅制整理ヲ何時迄ニヤ

ルト云フコトノ御確答ガナケレバ、衆議院ガ

之ヲ可決シテ、而モ衆議院ニ於テノ政府委員

ノ御答辯ハ、貴族院モ之ヲ可決シタナラバ善

處シヤウト云フ、此衆議院ニ於テノ政府委員

ノ御答辯ト、只今ノ政府委員ノ御答辯トハ、

段々同ジヤウニナツテ來タ、最初ノ中ハ理論

的ニハ反對ダトカ、贊成ハ出來ナイトカ、色々

ナ御陳述ガアリマシタガ、段々仰ツシヤツテ

居ルノヲ見ルト、政府委員ノ御答辯ハ緩和

シテ來テ居ルヤウデアリマスガ、サウスル

ト云フト、若シ貴族院ガ衆議院同様ノ決議

ヲシタナラバ、政府ハ其時ニハドウ云フ風

ニナサルカ、矢張り善處スルト云フヤウナ

御答辯ヲナサルカト云フコトヲ此處デモウ

一度改メテ承ハリタイ

○政府委員(上塚司君) 貴族院ニ於テ衆議

院通りニ通過イタシマシタナラバ、其上ニ

於テ政府トシテ善處シマス

○小林嘉平治君 先刻或委員ノ御質問ノ中

ニ、何カ私ガ今日ノ提案ニ贊否ノ意思表示

ヲシテ居ルヤウナ意味ノ御話ガアリマシ

タ、全然私ハソレハ無イノデアリマス、苟

モ斯ウ云フ法案ニ手ヲ觸レル以上ハ貴族院

ノ立場カラシテ慎重ニ研究シタイト云フ冷

靜ナ頭デ居ル、若シ利害ヲ言フナラバ私ハ

此問題ニ利害ノ關係ヲ有シテ居ルモノデア

リマス、今ノヤウナ提案ガ成立シタナラバ、

私ノ懷勘定ハ良クナルノデアリマスガ、併

ナガラサウ云フコトニ捉ハレズニ、冷靜ニ

研究シタイト云フ意味ノ質問デスカラ其積

リデーツ御答辯ヲ願ヒマス、又稅制調査會

ガアレバ、吾々ノ此處ニ速記録ニ殘ル答辯、

質問應答ト云フモノハ非常ナ資料ニナリマ

スカラ、其意味デ質問イタシマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 小林君ニ

申上ゲマスガ、是カラ御質問ニナリマスノ

デスカ

○小林嘉平治君 サウデス、第六條ノ此規

定ハ、法人ノ資本金額ニ關スル規定デアリ

マス、ソコデ若シ第二項ヲ退ケテシマヒマス

ト云フト、繰越缺損金ノアツタ場合ニ、資本

金額ヲドウ云フコトニ計算スルト云フコト

ガ無クナルノデアリマス、其影響スルコト

如何デアリマス、根本的ニ私ハ尋ネマス

○政府委員(石渡莊太郎君) 只今ノ御尋ニ

御答ヘ致シマス、此第二項ヲ削ッタ場合ニド

ウスルカト云フ御尋デアリマスルガ、第二

項ヲ削リマシタ時分ニ、繰越缺損金ガアリ

マシテモ、第六條ノ第一項ノ資本金額ト、

其拂込濟ノ資本金額ノ月割平均ヲ以テ計算

スト云フ其第一項ノ適用ヲ受ケルモノダ

ト存ジラレマス

○小林嘉平治君 サウシマス、只今ノ御

説明ニ依ルト、今現ハレテ居ル問題ハ別ニ

致シマシテ、此第二項ハ無クトモ全ク之

ハ所謂無駄ナ條項デアアルノデアリマス、

若シ第一項ニ依ツテ第二項ノ繰越缺損金ノ

アル場合ノコトモ規定シ得ルト云フコトデ

アレバ、此第二項ハ無駄ナ條文デアアルノデ

アリマス

○政府委員(石渡莊太郎君) 只今此第二項

ニアリマスコトハ、超過所得ノ計算上繰越

缺損金ヲ引キマシタ、其引イタ殘リノ資本

金額ト云フモノヲ以テ、超過所得稅ヲ計算

スルト云フコトニ相成リマスカラ、結局超

過所得ノ計算上其繰越金ト云フモノハ、資

本金カラナイモノト……資本金ヨリ引イテ

精算イタシマスカラ、繰越缺損金ト云フモ

ノハナイモノトシテ計算サレマス從テ資本

金額ハ少クナルノデアリマス、サウ云フコ

トノ爲ニ此第二項ガアルト思ヒマス

○小林嘉平治君 只今ノ政府委員ノ説明ハ

其儘贊成シ兼ネルヤウニ思フノデアリマス

ガ、併シ結論トシテ斯ウ云フコトヲ御尋ネ

シテ見マス、此第二項ハ超過所得デアアルガ

故ニ拵ヘラレタ條文デアツテ、若シ此超過所

得ト云フコトニ關係ヲ持タネバ全ク不必要

ナ條文デアアルノデアリマスカ

○政府委員(石渡莊太郎君) 仰シヤル通り

デゴザイマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) ドナタモ

御質問ゴザイセスカ

(「アリマセス」ト呼フ者アリ)

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 速記ヲ止

メテ下サイ

(速記中止)

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 速記ヲ始

メテ……次ニ昭和九年度一般會計歳出ノ財

源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル

法律案、政府ノ御説明ヲ求メマス

○政府委員(大久保偵次君) 昭和九年度一

般會計歳出ノ財源ニ充テマス爲ノ公債第二

次追加發行ニ關シマスル法律ハ、既ニ昭和

九年度ノ一般會計ノ歳入不足ノ補填ニ付キ

マシテハ總豫算ニ伴ヒマスルモノ竝ニ昭和

九年度追加豫算第一號ニ伴ヒマスルモノヲ

提出ヲ致シテアリマシテ、總豫算ニ伴ヒマ

スルモノニ付キマシテハ既ニ御協贊ヲ經テ

居ルノデアリマスガ、尙ホ昭和九年度總豫

算ノ追加第二號ニ計上イタシマシタ財源ニ

付キマシテモ、經費ノ財源ニ付キマシテモ、

只今ノ場合普通財源ニ餘裕アルモノガ極メ

テ少ナイノデアリマシテ、大部分ハ公債財

源ニ依ル外致方アリマセヌノデ、此法律案

ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、尙ホ

昨年ニ於キマシテハ此歳入補填公債ノ追加

ノ場合ハ當初ノ法律案ヲ修正スル形デ提案

ヲ致シタノデアリマスガ、ソレハ當初ノ法

律案ガ既ニ成立イタシタ後デアリマシタノ

デアリマスガ、今回ハ未ダ初メニ出シタ二

案ガ提出ノ際ハ公布ノ運ビニ至リマセヌモ

ノガアリマスシ、モウ一ツノ方ハ御審議中

デアリマス爲ニ別ノ法律案ノ形デ以テ提出

イタシタ次第デアリマス

○金子元三郎君 私ハ此前ニ先ノ九年度

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發

行ニ關スル法律案ノ時ニ文書函ヲ見ル

ト第二次發行ト云フ同ジヤウナモノガ

アルガ、何故サウ云フヤウナコトハ同

時ニ出サレナイノデアアルカト云フコトヲ御

尋ネシテ見タ所ガ、御答ハアリマシタガ、

私ハ一向會得ノ行カナカッタノデアリマス、

更ニ第二次ノ場合ニ御尋ネシヤウト言ッテ

置イタノデアリマスガ、案其ノモノニ付テ

ノ御尋ネト云フヨリモ此案ヲ見マシテモ唯

法律案ニハ先ノ分カラ見ルト第二次ト云フ

字ガ變ッタノト、ソレカラ内容ハ、千六百萬

圓ト云フ文字ガ九百四十萬圓ト云フ字ト入

レ代ッタト云フコトデ、何モ變リハナイノデ

アリマス、而モ茲ニ最初ノ案ガ未ダ審議中

デ我々ガ之ヲ決シナイ中ニ直グニ第二次ノ

同ジヤウナモノガ出テ來ル、斯ウ云フコト

デ此事柄其モノハ假リニ問題ニナラナイコ

トトシマシテモ法律案ヲ斯ウ度々殆下間斷

ナシニ同様ナモノヲ屢、斯ウ云フ工合ニ別

別ニ御出シニナルノハドウ云フ譯デアアルダ

ラウカト云フコトヲ御尋ネスル、斯ウ云フ

コトデアアルナラバ一層之ヲ一ツニシテ、サ

ウシテ内容ニ於テノ説明ヲ加ヘラレレバソ

レデ事ガ足リルノデアアル、サウスルト法律

案ガ二ツ出來ズニ一ツデ濟ム、或ハ審議ノ

上ニ於テモ何ノ上ニ於テモ頗ル便宜デアラ

ウト思ヒマスシ、又政府ノ方デ斯ウ云フ御

取扱ヲナサル上ニ於テハ大變ナ事務ノ簡捷

ニナルンデヤナイカ、コンナ餘計ナ手數ヲ

掛ケズトモ少シ日ヲ待ッテオヤリニナレバ

一ツニ纏ッテ出サレルモノヲ、一遍々々法律

案ヲ組立テテハ印刷ヲスル、成程是ハ後デ

ヤル時分ニハ唯金額ダケヲ入換ヘテ第二次

ト云フ字サヘ活版ニ入レレバソレデ事ハ足

リルヤウナモノデアリマス、手數デヤナイ

カモ知レスト思ヒマスケレドモ、ソレダケ

デモ餘計ナコトヲサレルヤウニ思フシ、又

議員ノ方デモ之ヲ受取ッテ、問題ガ起ッテ來

レバダケレドモ、自分ノ方ハ委員ニデモナッ

テ居ラナケレバ、ウツカリシテ居ルト同ジモ

ノダラウト、文書函ニ同ジモノノガ入ッテ居ル

ンデヤナイカト思ッテ、一ツハ反古ニシテシ

マフカモ知レマセヌ、スンナヤウナモノヲ

斯ウ云フ風ニ度々短イ時ニ斯ウ幾ツニモン

テ出サレナケレバナラヌト云フコトハドウ

云フコトデアリマスガ、モウチヨット便宜ニ

纏メテ御出シニナルコトハ出來ナイデセウ

カ

○政府委員(賀屋興宣君) 御答へ申上ゲマ

ス、度々御面倒ヲ掛ケマシテ、甚ダ恐縮デ

スガ、致方アリマセヌノデアリマス、ト

申シマスルノハ第一次ノ追加發行ハ二月ノ

日ハ忘レマシタガ、終リニ提出シタ昭和九

年度ノ總豫算ノ追加第一號ノ財源ニ充テル

ノデアリマス、昭和九年度ハ追加豫算ノ第

一號ハアノ豫算ダケヲ御協贊ヲ願ヒマシテ

モソレデハ實行ハ出來マセヌ、歳出ハ

必ズ之ヲ支辨スル財源ヲ調達スル途ガ確保

イタシテ居ラナケレバナラヌコトハ、今更

申ス迄モナイノデアリマシテ、此歳入補填

公債ノ追加第一號ガ出來マシテ初メテ追

加豫算ノ第一號ハ之ヲ實行シ得ル、雙方

關聯ヲ致シテ居リマス、然ラバ其際ニ第二

號ノ財源ニナリマスモノ迄モ見込ンデ同時

ニ提出スレバ御審議ノ御手數ガ甚ダ省ケル

ノデアリマスガ、追加豫算ハ御承知ノ如クニ成ルベク是ハ出スベキモノデハナイ、出來ルダケ出サナイヤウニ致シテ居リマス、已ムラ得ズ出シマスノデアリマス、第二號ノ追加豫算ハ其時ニ出マスト云フコトハ多少ハ事柄ノ性質上已ムラ得ヌト考ヘマシテモ、マダ金額モ未定ノモノモアリマスシ、ソレカラ全ク出ス必要ガアリマスカアリマセヌカ分ラヌモノモアリマシテ、金額ヲ豫測イタシマシテ計上イタスト云フコトハ出來マセヌ、サウカト申シマシテ之ヲ極ク大體ノ所デ凡ソアト一千萬圓モ要ルダラウカラ入レテ置カウト云フコトハ、政府ノ方ト致シマシテハ甚ダ便利デアリマスガ、併ナガラ赤字公債ノ問題ハ度々貴族院ニ於テモ御議論ガアリマスヤウニ、是ハ相成ルベクハ出スベキモノデハアリマセヌシ、出シマシテモ之ヲ最小限度ニ止メルベキデアリマスカラ、愈々現實ニ何圓ト云フ必要ガハッキリ定マリマシテ御協賛ヲ願フノガ至當ダト考ヘマスノデ、已ムラ得ズ追加豫算ガ二回ニ分レマス際ニハ此方モ已ムラ得ズ二回ニ分レルノデアリマス、元々追加豫算ニ付キマシテモ成ルベク御手数掛ケマセヌヤウニ出來レバ出サナイ、出サナイト云フコトハ御手数ノミナラズ出サナイノガ本當デアリ

マス、出サナイヤウニスル、出シマシレバ纏メテ出シタイト思フノデアリマスガ、追加豫算ノ方デ既ニ御協賛ヲ得テ居リマスカラ、ドウモ左様ニ參リマセヌノデ、甚ダ度御審議ヲ煩シテ恐縮デアリマスガ、二回目ノ方ハ此十七日ニ出シマシタ、凡ソ二十日近クモ兩方ノ間ニ差ガ出來マシタノデ、ソレニ伴フ財源デアリマスカラ、已ムラ得ズ分ケテ出シマシタ次第デアリマス、甚ダ御手数掛ケマシテ恐縮デアリマスガ、サウ云フ次第デアリマスカラ何卒御諒承ヲ願ヒマス

マダ我ミノ方デ決シナイデ居ル中ニ、追加豫算ノ方ガ、歳出ノ方ダケハ決ッテシマフノデハナイカ、ソナヤウナコトモアルガ、ソレハ別トシテモマア已ムラ得ズナサルコトダラウト思フカラ、敢テソレニ付テ彼レ是レ申スノデアリマセヌガ、僅カ五日ヤ七日ノコトデアルナラバ、サウ云フコトハモウ少シ事務ノ方デ能率ヲ擧ゲテ進捗サレタラ後ノ方ガ早く済ミサウニ思フノデス、御役所ノ仕事ノコトハ能ク分ラヌガ、民間ナラ仕事ガ大概出來ルト思フカラ御尋ネシテ見タノデアリマス

譯ニ參リマセヌデ二回ニ分ケマシタノデアリマス、行届カヌ點モアルカモ知レマセヌガ、出來ルダケ注意ヲ拂ッテ居ル積リデアリマス、尙ホ將來モ注意致サウト考ヘテ居リマス
○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御質問ハゴザイマセヌカ
〔アリマセヌ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(子爵大河内輝耕君) ソレデハ只今第二次ノ方ノ御質問ヲ願ヒマシタノデスガ、採決ハ矢張り第一次ノ方カラヤッテ行ッテ方ガ宜カラウト思ヒマス、最早第一次ノ方ニ付キマシテハ御質問ハ大體済ンデ居リマスガ、尙ホ併シ必要ガアレバ此際願ヒマス、ソレデハ昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ルル爲公債追加發行ニ關スル法律案、詰リ千六百七十萬圓ノ分、此分ニ付キマシテ、之ヲ議題ニ供シマス、之ニ付キマシテ御質問ガ御アリニナル方ハ此際御願ヒ致シマス
〔質問アリマセヌ〕異議ナシト呼フ者アリ
○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御質問ガゴザイマセヌケレバ採決致シタイト存ジマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○金子元三郎君 今御話ニナツタヤウナコトハ先日モ承ッテ居ルノデ、必ズシモ其後ノ財源ヲ見積ッテ提出サレタラ宜カラウナドト云フコトハ毛頭考ヘテ居ラヌノデアリマスガ、併シ初メ提出シタノト後ニ提出シタノト二十日以上モ間ガアル、ソレ位間ガアルナラバ是ハドウモサウ云フ風ニナルノモ已ムラ得ヌト思フノデアリマスガ、併ナガラソレハ仕事ノ運ビ方ニ依ッテハソレ位ノコトハ大概早く調べガ付クンデヤナイカト思フ、サウ思フノト、モウ一ツハ追加豫算ト是ハ關聯シテ居ルモノデ、此コトガ決シナケレバ歳出ノ方モ取扱ガ出來ナインダト言ハレルガ、或ハヒョットシタラ是ハ此案ガ

○政府委員(實業興宣君) ソレハ率直ニ申シマスト私ノ方モ非常ニ勉強シテ居ル積リデアリマス、早く出シマシテ議會ノ終ル迄ニ成ルベク御協賛ヲ願ヘルモノハ御協賛ヲ願ヒマシテ、責任支出ト云フコトヲ避ケル方ガ宜シイト思ヒマスノデ、ソレデ第一回ノ提出ノ分ガ餘程後マデ延バシ得ルモノナラバ成ルベク會期ノ終リニ、サウシテ一方御審議ノ期間モアリマスカラ、餘リ切迫シマシテカラ出シテモドウカト思ヒマスガ、其邊モ考ヘマシテ案ノ内容モ考ヘマシテ、成ルベク纏メテ出シタイ、ソレニハ遅ク出ス方ガ宜イト思ヒマスガ、第一回ノ方ハ色々ナ事情ガアリマシテ、サウ遅ク延延バス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御質問ガゴザイマセヌケレバ採決致シタイト存ジマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御異議ナイト認メマス、次ニ昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案、是ハ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御異議ハナイト認メマス、次ニ營業收益稅法中改正法律案、之ヲ一ツ願ヒタイト思ヒマス、之ニ付テ御質問ガゴザイマシタラ御願ヒ致シマス、御質問ハアリマセヌカ

○加藤政之助君 チョット申上ゲマス、是ハ政府ハ矢張り此稅法ノ整理ヲヤルカラ其時ト一緒ニシタイト云フコトノ辯明ヲ前カラシテ居ッタノダト思ヒマスガ、ソレデアルト先刻ノ案ト關聯スルカラ、今日御決シシナラズニ其時一緒ニオヤリニナッタラ宜クハナイカト斯ウ思フ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○伯爵兒玉秀雄君 ドウゾ大藏省ノ方ニ御願ヒ致シマスガ、今ノ營業收益稅ノ方モ、理窟ニ於テハ何等ノ異存ハナイ、唯稅制調査委員會ニ審議ノ上デ之ヲヤリタイト云フヤウナ御話デアリマスカラ、果シテ此稅制整

理ノ時ニ一緒ニヤラナケレバナラヌト云フ御意嚮デアレバ、能ク來議會ニ之ヲ提案スルコトガ出來ルカ出來ヌカ、ソレデナシニ之ヲ單獨デヤツテモ宜イノナラバ、ソレデモ差支ヘナイ、斯ウ云フコトニ關スル大藏大臣ノ意見ヲ、大藏大自御自身ナリ又ハ大藏大臣ノ御意見ナリヲ明日此處デ明カニ願ヒタイト思ヒマスカラ、其積リデドウゾ……

○藤原銀次郎君 若シ衆議院ノ通りニ貴族院ガ之ヲ可決シタナラバ政府ハドウ云フ態度ヲ執ルカト云フコトモハツキ承リタイ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 皆サンニ申上ゲマスガ、内務省ノ方デ營業收益稅ニ付テ御意見ガゴザイマスカウデスガ、此際内務省ノ御意見ヲ聽クト云フコトデ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○政府委員(安井英二君) 營業收益稅法中改正法律案ノ内容ハ、直接ニハ國稅ノコトヲ定メテ居ルノデアリマスルガ、併シ是ハ提案ノ理由ヲ拜見イタシマスルト、今日地方稅ニ於テ雜種稅トシテ演劇興業稅ヲ取ツテ居リマス、之ヲ國稅ノ方ヘ移管スルヤウニモ受取レルノデゴザイマシテ、若シ左様ニ致シマスルト、單ニ國稅ダケノ問題デハナクシテ、地方稅トシマシテ相當重要ナル

關係ヲ持ツテ來ルノデゴザイマシテ、而シテ之ニ付キマシテハ單ニ其當該ノ稅ダケニ關係シマセズシテ、地方財政トシマシテ考ヘナケレバナリマセヌシ、又外ノ地方稅トノ關係ナドモ考ヘナケレバナラヌト云フノデ、昨年ハ矢張り同様委員會ニ於テ色ミ御意見ガゴザイマシテ、之ニ付キマシテ内務大臣カラ、能ク調査ヲ致シマシテ、成ルベク成案ヲ得ルヤウニ努力シタイト云フコトヲ御答ヘ致シタノデアリマシテ、ソレニ依リマシテ今日尙ホ引續イテ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、而シテソレハ先程御話ガアリマシタヤウナ、稅制改正準備委員會ナリ、ソレカラ尙ホ是ハ恐ラク農村負擔ノ輕減委員會ニモ關係アルコトデアリマシテ、其處ニ於テモ問題ニナラウカト思ヒマスルガ、是ハ私ドモ只今考ヘテ居リマスル所デハ、例ヘバ地方財政調整交付金制度ト云フモノト關聯シテ考ヘナケレバナラヌト云フコトニナルノヂヤナカラウカトモ考ヘテ居ルノデアリマス、從テ是ダケヲ取離シマシテ本年之ガ成立スルト云フコトニ付キマシテハ、政府トシテハ衆議院ニ於キマシテ反對ノ意思表示ヲ致シテ居リマスノデアリマシテ、其點ハ今日モ亦同様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、此點

ハドウゾ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御質問ハゴザイマセヌカ

○小林嘉平君 只今内務省ノ政府委員ノ御言葉ノ中ニ、地方財政調整交付金ノ御話ガ出マシタガ、私共ノ窃ニ承ハツテ居ル所ニ依リマス、内務省トシテハ地方ノ財政ヲ調整スル意味ニ於テ是非此案ノ成立ヲ望ンデ居ラレタト云フコトヲ承ハツテ居ルノデアリマス、又現ニ町村長會ナドニ於テモ熱烈ニ此運動ヲ繼續シテ居ルヤウナ次第デ、民間ノ聲モ斯ノ如クデアリ、政府當局モ亦現ニ今御漏ラシニナツタヤウナ御考ヲ御持チニナツテ居ルニ拘ラズ、今回御提案ニナラヌト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(安井英二君) 只今仰セニナリマシタ地方財政調整交付金制度ニ付キマシテハ、内務省ダケニ於テハ色々考ヘテ或程度ノ成案ヲ持ツテハ居ルノデアリマスルケレドモ、唯何分是ハ、國ノ財政、國ノ稅制トモ關係ヲ持ツコトデゴザイマシテ、能ク大藏省トモ御打合せヲシナケレバナラヌ、從ヒマシテ内務省トシテハ一應考ヘテ居リマスルケレドモ、政府全體トシテマダ一致シク意見ト云フコトニ歸一イタシテ居リマセヌ、從ヒマシテ本年ノ議會ニ出スコトハ出

來ナカッタノデゴザイマシテ、實情ハ左様デゴザイマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御質問ハゴザイマセスカ

○小林嘉平治君 是ハ政府委員ニ御願ヒスルノハ御無理カ知レマセヌガ、苟モ地方ノ財政ニ付テ何トカセネバナラスト云フコトガ今日國論トナツテ居ルノデアリマス、直接關係ノアルノハ内務省デアリマス、内務省ノ意見ヲ尊重スルト云フコトガ第一デナケレバナラスノニ、實情ニ於テハ大藏省ノ意見ガ直ニ内務省ノ御意見ダト云フヤウナコトニ終ツテ居ルヤウデス、甚ダ私ドモ遺憾ニ思フテ居ルノデアリマスガ、其處ニ丁度大藏省ノ政務官ガ居ラレマスノデ、其邊ニ付テノ御腹藏ナキ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

〔アリマセヌ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 私カラ伺ヒマスガ、之ニ依テ地方税ノ缺陷ハ如何ニナリマスカ

○政府委員(安井英二君) 演劇興業税ノ昭和六年度ノ調デアリマスガ、府縣稅ニ於キマシテ百九十五萬圓餘リニナツテ居リマス、其中デ法人課稅ガ三十八萬五千圓バカリニ相成ツテ居リマシテ、個人ノ分ガ百五十六萬七千圓バカリニ相成ツテ居リマス、而シテ是ハ府縣稅ダケデゴザイマスノデ、此外ニ市町村稅ト致シマシテ附加稅ヲ取ツテ居リマス、其額ハ凡ソ矢張り此額ト同額位ノ程度ニ相成ツテ居リマス

○政府委員(上塚司君) 農村ノ負擔ガ非常ニ過重デアツテ、商工都市トノ比較ニ於テモ甚ダシク重イト云フヤウナコトヲ以チマシテ、地方財政調整ノ費用ヲ國庫カラ出シテ吳レト云フ強イ要望ガアルノデアリマス、政府ト致シマシテハ先ニ内務省ノ政府委員カラ申サレマシタ通り、我ガ財政ノ上ニ於テ重大ナル影響ヲ及ボスベキ案デアリマシテ、今年ニ於テハ提案ラシテ居ラヌノデアリマス

○藤原銀次郎君 之ヲ若シ衆議院提出案ノ如ク改正イタシマスト云フト、ドウ云フ結果ニナリマスカ、數字的ニ見テ……

○政府委員(安井英二君) 只今藤原サンカラ御尋ニナリマシタコトデアリマスガ、若シ之ヲ全部國稅ノ方ヘ移シマシテ、サウシテ地方稅トシマシテハ國稅ノ營業收益稅ノ附加稅ヲ取ルダケニ過ギナイト云フコトニ相成リマスルト、非常ニ缺陷ヲ生ズルコトニナルト思ヒマス、假リニ法人ダケニ付テ

問題ト致シマスルト、道府縣ニ於キマシテ約三十五萬圓バカリ、市町村ニ於キマシテ約三十九萬圓、合セテ七十四萬圓位ノ歲入缺陷ガ起ラウカト思ヒマス、尙ホソレハ法人ダケノ問題デアリマスガ、然ラバサウ云フ場合ニ於テ個人ノ方ヲドウ見ルカト云フ問題モゴザイマスルシ、ソレカラ御承知ノヤウニ今日ハ演劇興業稅ハ雜種稅トシテ取ツテ居ルノデアリマスルガ、只今申上ゲマシタヤウニ、其代リ財源ガアリマセヌト、其爲ニ地方財政ニ於キマシテハ缺陷ヲ生ジマスルシ、ノミナラズ此雜種稅ノ一ツトシテ取ツテ居ルノデアリマスガ、他ノ雜種稅ニ付キマシテモ色々研究ヲ要スル點モアリマス、而シテ此際演劇興業ダケヲ整理スルト云フコトニナリマスルト、他ノ色々雜種稅其他ノ地方稅トノ關係ニ於キマシテ、緩急輕重或ハ前後ト云フ關係カラ考ヘマスト、是ダケヲ此際切離シテ整理スルト云フコトハ公平ノ觀念カラ申シテ如何デアラウカ、從テソレガ延イテ納稅觀念ニモ影響ヲ有チ得ルコトカト思ヒマスルガ、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ相當考慮ヲ要スル問題デハナカラウカ、今日農村負擔輕減問題ノ起ツテ居リマスル際ニ、唯是ダケヲ切離シテ而シテ是ガ爲ノ減稅ヲ圖ルト云フコトニ付

○藤原銀次郎君 之ヲ若シ衆議院提出案ノ如ク改正イタシマスト云フト、ドウ云フ結果ニナリマスカ、數字的ニ見テ……

○藤原銀次郎君 之ヲ若シ衆議院提出案ノ如ク改正イタシマスト云フト、ドウ云フ結果ニナリマスカ、數字的ニ見テ……

○政府委員(安井英二君) 只今藤原サンカラ御尋ニナリマシタコトデアリマスガ、若シ之ヲ全部國稅ノ方ヘ移シマシテ、サウシテ地方稅トシマシテハ國稅ノ營業收益稅ノ附加稅ヲ取ルダケニ過ギナイト云フコトニ相成リマスルト、非常ニ缺陷ヲ生ズルコトニナルト思ヒマス、假リニ法人ダケニ付テ

問題ト致シマスルト、道府縣ニ於キマシテ約三十五萬圓バカリ、市町村ニ於キマシテ約三十九萬圓、合セテ七十四萬圓位ノ歲入缺陷ガ起ラウカト思ヒマス、尙ホソレハ法人ダケノ問題デアリマスガ、然ラバサウ云フ場合ニ於テ個人ノ方ヲドウ見ルカト云フ問題モゴザイマスルシ、ソレカラ御承知ノヤウニ今日ハ演劇興業稅ハ雜種稅トシテ取ツテ居ルノデアリマスルガ、只今申上ゲマシタヤウニ、其代リ財源ガアリマセヌト、其爲ニ地方財政ニ於キマシテハ缺陷ヲ生ジマスルシ、ノミナラズ此雜種稅ノ一ツトシテ取ツテ居ルノデアリマスガ、他ノ雜種稅ニ付キマシテモ色々研究ヲ要スル點モアリマス、而シテ此際演劇興業ダケヲ整理スルト云フコトニナリマスルト、他ノ色々雜種稅其他ノ地方稅トノ關係ニ於キマシテ、緩急輕重或ハ前後ト云フ關係カラ考ヘマスト、是ダケヲ此際切離シテ整理スルト云フコトハ公平ノ觀念カラ申シテ如何デアラウカ、從テソレガ延イテ納稅觀念ニモ影響ヲ有チ得ルコトカト思ヒマスルガ、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ相當考慮ヲ要スル問題デハナカラウカ、今日農村負擔輕減問題ノ起ツテ居リマスル際ニ、唯是ダケヲ切離シテ而シテ是ガ爲ノ減稅ヲ圖ルト云フコトニ付

○政府委員(安井英二君) 只今藤原サンカラ御尋ニナリマシタコトデアリマスガ、若シ之ヲ全部國稅ノ方ヘ移シマシテ、サウシテ地方稅トシマシテハ國稅ノ營業收益稅ノ附加稅ヲ取ルダケニ過ギナイト云フコトニ相成リマスルト、非常ニ缺陷ヲ生ズルコトニナルト思ヒマス、假リニ法人ダケニ付テ

問題ト致シマスルト、道府縣ニ於キマシテ約三十五萬圓バカリ、市町村ニ於キマシテ約三十九萬圓、合セテ七十四萬圓位ノ歲入缺陷ガ起ラウカト思ヒマス、尙ホソレハ法人ダケノ問題デアリマスガ、然ラバサウ云フ場合ニ於テ個人ノ方ヲドウ見ルカト云フ問題モゴザイマスルシ、ソレカラ御承知ノヤウニ今日ハ演劇興業稅ハ雜種稅トシテ取ツテ居ルノデアリマスルガ、只今申上ゲマシタヤウニ、其代リ財源ガアリマセヌト、其爲ニ地方財政ニ於キマシテハ缺陷ヲ生ジマスルシ、ノミナラズ此雜種稅ノ一ツトシテ取ツテ居ルノデアリマスガ、他ノ雜種稅ニ付キマシテモ色々研究ヲ要スル點モアリマス、而シテ此際演劇興業ダケヲ整理スルト云フコトニナリマスルト、他ノ色々雜種稅其他ノ地方稅トノ關係ニ於キマシテ、緩急輕重或ハ前後ト云フ關係カラ考ヘマスト、是ダケヲ此際切離シテ整理スルト云フコトハ公平ノ觀念カラ申シテ如何デアラウカ、從テソレガ延イテ納稅觀念ニモ影響ヲ有チ得ルコトカト思ヒマスルガ、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ相當考慮ヲ要スル問題デハナカラウカ、今日農村負擔輕減問題ノ起ツテ居リマスル際ニ、唯是ダケヲ切離シテ而シテ是ガ爲ノ減稅ヲ圖ルト云フコトニ付

○政府委員(安井英二君) 只今藤原サンカラ御尋ニナリマシタコトデアリマスガ、若シ之ヲ全部國稅ノ方ヘ移シマシテ、サウシテ地方稅トシマシテハ國稅ノ營業收益稅ノ附加稅ヲ取ルダケニ過ギナイト云フコトニ相成リマスルト、非常ニ缺陷ヲ生ズルコトニナルト思ヒマス、假リニ法人ダケニ付テ

問題ト致シマスルト、道府縣ニ於キマシテ約三十五萬圓バカリ、市町村ニ於キマシテ約三十九萬圓、合セテ七十四萬圓位ノ歲入缺陷ガ起ラウカト思ヒマス、尙ホソレハ法人ダケノ問題デアリマスガ、然ラバサウ云フ場合ニ於テ個人ノ方ヲドウ見ルカト云フ問題モゴザイマスルシ、ソレカラ御承知ノヤウニ今日ハ演劇興業稅ハ雜種稅トシテ取ツテ居ルノデアリマスルガ、只今申上ゲマシタヤウニ、其代リ財源ガアリマセヌト、其爲ニ地方財政ニ於キマシテハ缺陷ヲ生ジマスルシ、ノミナラズ此雜種稅ノ一ツトシテ取ツテ居ルノデアリマスガ、他ノ雜種稅ニ付キマシテモ色々研究ヲ要スル點モアリマス、而シテ此際演劇興業ダケヲ整理スルト云フコトニナリマスルト、他ノ色々雜種稅其他ノ地方稅トノ關係ニ於キマシテ、緩急輕重或ハ前後ト云フ關係カラ考ヘマスト、是ダケヲ此際切離シテ整理スルト云フコトハ公平ノ觀念カラ申シテ如何デアラウカ、從テソレガ延イテ納稅觀念ニモ影響ヲ有チ得ルコトカト思ヒマスルガ、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ相當考慮ヲ要スル問題デハナカラウカ、今日農村負擔輕減問題ノ起ツテ居リマスル際ニ、唯是ダケヲ切離シテ而シテ是ガ爲ノ減稅ヲ圖ルト云フコトニ付

○政府委員(安井英二君) 只今藤原サンカラ御尋ニナリマシタコトデアリマスガ、若シ之ヲ全部國稅ノ方ヘ移シマシテ、サウシテ地方稅トシマシテハ國稅ノ營業收益稅ノ附加稅ヲ取ルダケニ過ギナイト云フコトニ相成リマスルト、非常ニ缺陷ヲ生ズルコトニナルト思ヒマス、假リニ法人ダケニ付テ

問題ト致シマスルト、道府縣ニ於キマシテ約三十五萬圓バカリ、市町村ニ於キマシテ約三十九萬圓、合セテ七十四萬圓位ノ歲入缺陷ガ起ラウカト思ヒマス、尙ホソレハ法人ダケノ問題デアリマスガ、然ラバサウ云フ場合ニ於テ個人ノ方ヲドウ見ルカト云フ問題モゴザイマスルシ、ソレカラ御承知ノヤウニ今日ハ演劇興業稅ハ雜種稅トシテ取ツテ居ルノデアリマスルガ、只今申上ゲマシタヤウニ、其代リ財源ガアリマセヌト、其爲ニ地方財政ニ於キマシテハ缺陷ヲ生ジマスルシ、ノミナラズ此雜種稅ノ一ツトシテ取ツテ居ルノデアリマスガ、他ノ雜種稅ニ付キマシテモ色々研究ヲ要スル點モアリマス、而シテ此際演劇興業ダケヲ整理スルト云フコトニナリマスルト、他ノ色々雜種稅其他ノ地方稅トノ關係ニ於キマシテ、緩急輕重或ハ前後ト云フ關係カラ考ヘマスト、是ダケヲ此際切離シテ整理スルト云フコトハ公平ノ觀念カラ申シテ如何デアラウカ、從テソレガ延イテ納稅觀念ニモ影響ヲ有チ得ルコトカト思ヒマスルガ、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ相當考慮ヲ要スル問題デハナカラウカ、今日農村負擔輕減問題ノ起ツテ居リマスル際ニ、唯是ダケヲ切離シテ而シテ是ガ爲ノ減稅ヲ圖ルト云フコトニ付

キマシテハ相當今日ノ時勢ニ鑑ミマシテ考慮ヲ要スル點デアアルノデハナカラウカ、旁、今日衆議院提出ノ法律案ニ付キマシテハ政府トシテハ贊成イタシ兼ネテ居ル理由ハサウ云フ點ニアルノデゴザイマス

○藤原銀次郎君 此衆議院ノ案ヲ提出セラレテ可決セラレタ趣旨ハ、主トシテ演劇興業稅ト云フモノノ負擔ノ仕方ガ當ヲ得ナイ相當ニ無理ガアル、ソレガ爲ニ當業者ガ非常ニ苦痛ヲ蒙ツテ居ルト云フコトガ主タル原因デアラウト思ヒマス、ソレデ我々ノ手許ニモ當業者カラ色々ミナ書類ガ廻ツテ來テ居リマシテ、ソレヲチヨット見マシテモ其當業者ノ主張スル所ガ全然無理デアルトバカリモ見ラレナイヤウナ風ニ考ヘラレルノデアリマス、衆議院ガ又其當業者ノ立場ヲ考慮シテ見テ、餘程此課稅ノ方法ニ付テ無理ガアルカラ、斯ウ云フ案ヲ提出シテ貴族院ニ送ツテ來タノデアルト思フノデアリマス、只今色々御議論モアリマシタガ、サウ云フ點ニ付テハ政府デハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、其課稅方法ガ是デ適當デアアル、衆議院ノ送付シテ來ラレタ此改正案ハドノ點ガ不適當デアルカ、唯農村ノ負擔ノ均衡ヲ得ナイカライケナイト云フコトデアリマスカ、或ハ又此課稅ノ方法ガ適當デ

ナイ、營業者ノ主張スル所モ無理デナイ、併シ衆議院ノ主張スル所モ無理デナイ、ト云フヤウナ點ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(安井英二君) 只今藤原サンノ御尋ノ點デゴザイマスルガ、現在ノ此演劇興業稅ノ賦課ノ致シ方ニ付キマシテハ、只今仰セニナリマシタヤウニ相當考慮ヲ要スル點モアラウカト存ジマス、課稅ノヤリ方ナリ或ハ重イトカ輕イトカ云フコトニ付キマシテハ、相當考慮ヲ加ヘテ研究スル點モアラウカト存ジマス、唯是ガ今日ノ演劇興業稅ノ本質ハ、一面ニ於テハ營業課稅ト云フ一面ヲ持ツテ居リマスルガ、其外ニ尙ホ奢侈的消費稅ト云フ分子モ含シ居ルノデゴザイマス、ルカラ、此營業稅ノ分ニ付キマシテ之ヲ營業收益稅ノ附加稅ト云フコトニ付テ考ヘルコトハ、理論上トシマシテハ相當考ヘテ然ルベキ點カト存ジマス、唯ソレヲ理論上此營業課稅ノ分ニ付キマシテ、斯様ニ考ヘルノデアリマシテ、他ノ部分ニ付テハ又他ノ部分ニ付テノ考ヘ方ヲ致サナケレバナラヌカト存ジマスルガ、此營業課稅ノ部分ニ付キマシテ營業收益稅トシテ取ルト云フコトニ付テハ理論上トシマシテハ相當考慮ヲ拂ツテ然ルベキ點カト存ジマス、唯

併ナガラ之ヲ今日直ニ實現スルカト云フコトニ付キマシテハ先程申上ゲマシタヤウナ點ニ付キマシテモ亦考慮イタサナケレバナラスノデゴザイマシテ、今日此制度ヲ全然維持スルコトガ出來ヌ程惡イモノデアアルトハ考ヘマセヌ、併シ仰セニナリマシタヤウニ此點ハ將來考究ヲ要スルコトデアラウトス様ニ只今考ヘテ居リマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御尋ガゴザイマセヌデスカ

○小林嘉平治君 アリマセヌ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 私此一點デ御尋ネ致シマスガ、大變ムヅカシイ御言葉デスガ、結局法人ノ三十八萬圓ト云フ此代リ財源サヘアレバソレデ内務省ハ宜イノダラウト思フノデス、デ代リ財源ヲ何トカ目付ケルト云フコトニシテ宜シイデスナ結局……

○政府委員(安井英二君) 是ハ非常ニ困ルノデス、御承知ノヤウニ雜種稅ト申シマスノハ皆小サイモノバカリ集マツテ居リマス、一角ヲ崩サレバ全部崩レルノデアリマシテ、サウ云フコトハ徵稅制度ノ上カラ非常ニ考ヘナケレバナラヌト考ヘテ居ル、サウ云フ點ハ平生非常ニ考ヘテ居ルノデス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) ソンナコトハアリマセヌ其一角ヲ崩シタカラト云フテ雜種稅ガ皆崩レルト云フサウ云フコトハアリハシナイ、雜種稅ト云フモノハ別ニナツテ居ルカラ一ツ位改正シテモ何デモナイ

○政府委員(安井英二君) 私申上ゲ方ガ不十分デアツカト思ヒマスガ、崩レルト申シマシタノハ言葉ガ少シ強カツカト思ヒマスガ、寧ロ私ノ申上ゲマスノハ雜種稅ノ中ニ色々整理ヲシナケレバナラヌ其間ノ緩急輕重ヲ圖ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ點ニ重キヲ置イテ申上ゲタノデアリマシテ、或ハ少シ言葉ガ過ギタカト思ヒマス、只今申上ゲタヤウニ御諒承願ヒマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 其意味ナラ能ク分リマシタ、其意味ナラドレガ輕イカ、ドレガ重イカト云フコトヲ研究シテ居ル暇モアリマセヌガ、不合理稅ヲ改メタラ宜イト思ヒマス、其代リ財源サヘ何トカ方法ヲ申上ゲレバ是デ差支ヘナカラウト我々ハ解釋スルノデス、サウシテ去年内務大臣ノ政府ヲ代表シテ御言明デ、是ハ何モ大藏省ガ承知シナカッタカドウトカ云フ問題デハナイ、アスコニ速記録ヲ持ツテ來テ居リマスガ、確ニ早く調ベテ出スト云フコトニナツテ居ル、ソレハ内務省トシテ責任ヲ負ハナケレバナラヌト思フ、御自分ノ方デ御出

シニナラヌノデアリマスガ、サウ云フコトデハ我々トシテ甚ダ面白クナイト思フノデス、ソレデ成程金ガナクチャ御困リデセウカラ、其代リ財源ノコトハ我々考ヘルコトニシテ、又内務省ノ方ノ御意見モ一應承ッテマア代リ財源サヘアレバ善處スルト云フヤウナコトデ御了解ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(安井英二君) 執拗ク申上ゲマシテ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、ドウモ色々研究イタシマシテ、昨年モ大臣カラ御答ヘ致シマシテ、實ハ之ニハ頭ヲ苦メ抜イテ居ル問題デアリマスノデ、實ニ簡單ニイカナイノデ弱リ抜イテ居ルノデアリマス、之ヲ假ニ國稅ノ方ニ移シテシマイマス、ソレハ國稅ハ國稅トシテ取ル、從テ地方稅トシマシテハ其附加稅モ取ル、其外ニイカナイ所ハ演劇興業稅ト云フ一ツノ行爲稅トシテ十分取り得ル根據ガアルノデアリマス、唯サウ云フコトニ致シマス、寧ロ營業者ノ方ニハ重クナリハシナイカト思ヒマス、國稅デ取りマス分ダケ過重ニナリハセヌカト思ヒマス、御話ノ如キ點モ考ヘナケレバナリマセヌガ、却テ營業者ノ方ニハ國稅ノ分ダケ重クナリハセヌカト思ヒマス

○副委員長(子爵大河内輝耕君) ソレデヤ

我々ハ演劇興業税ニ對シテ重イ税ヲ課シテモ宜イト云フコトニ認メレバ一向差支ナイト思ヒマス、ソレデハサウ認メテ置キマス——ソレカラ、速記ヲ止メテ下サイマシ

午後四時十六分速記中止

午後四時三十分速記開始

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 速記ヲ始メテ下サイ、日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案、之ヲ議題ニ供シマス、御質問ハゴザイマセヌカ

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御質問ゴザイマセヌケレバ採決ニ移リマス、本案通リ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(子爵大河内輝耕君) 御異議ガナイト認メマス、本日ハ是デ散會イタシマシテ、明日ハ午前十時ヨリ開會イタシマヌ

午後四時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵細川 護立君
副委員長 子爵大河内輝耕君
委員 伯爵兄玉 秀雄君
男爵長 基連君
加藤政之助君

政府委員

金子元三郎君
藤原銀次郎君
小林嘉平治君
岩崎 清行君

内務省地方局長 安井 英二君

大藏參與官 上塚 司君

大藏省銀行局長 大久保偵次君

大藏書記官 賀屋 興宣君

同 石渡莊太郎君

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

説明員

大藏書記官 西村淳一郎君

貴族院昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第三號正誤

頁段 行 誤 正
四三 一五 萬圓 億圓
四三 二四 法人 邦人